

ENVIRONMENTAL REPORT 2025

サイ클ーズ株式会社 環境報告書

サーキュラーエコノミーを
追求する。

Pursue a circular economy



編集方針

■はじめに〈発行目的〉

サイ클ーズグループはサステナブルな経営の実現に資するために、以下の目的に基づいて環境報告書2025(以下、本報告書)を発行します。

- ①説明責任の遂行:ステークホルダーとの接点強化につなげます。
- ②経営改善への活用:本報告書をもとにした ESG(環境・社会・ガバナンス)評価や対話での指摘事項を社内にフィードバックし、改善につなげます。
- ③適切な社外評価の獲得:企業の ESG 参照について関心の高いステークホルダーへの報告といたします。

■対象期間・対象範囲

対象期間は2024年1月～12月とします。但し、一部当該期間後の内容も含まれています。
対象範囲は持株会社であるサイ클ーズを含む環境マネジメントシステム(ISO14001)の適用範囲である東港金属及びTMLとします。また連結子会社各社の事業内容を掲載しております。
尚、文中の会社名は、略称を用いて表示します。

■参考ガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を基に、「環境報告書ガイドライン(2018年版)」を参考にして作成しております。

■お問い合わせ窓口

本報告書に関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームをご利用ください。

<https://cyclers.co.jp/inquiry/>

I N D E X	編集方針	P02
	トップメッセージ	P03
	サステナビリティビジョン	P04
	サイ클ーズグループ概要	P07
	特集1 2024年度グループin会社 三立処理工業	P09
	2 2024年度グループin会社 サナース	P11
	環境(実績報告)	P13
	社会(実績報告)	P23
	ガバナンス	P25
	Appendix	P28

サーキュラーエコノミーの 実現を目指して

当社は1902年の創業以来、一貫して資源リサイクル事業での挑戦を続けてまいりましたが、今日、「資源循環」は国家戦略に位置づけられ、特定の業種を超えた社会全体の使命となりつつあります。

とりわけ、「リサイクルシステムの高度化」、「サーキュラーサプライチェーンの構築と可視化」は、持続可能な循環型社会を実現するために不可欠な中核テーマです。

私たちサイクラーズグループは、これらの本質的なテーマに向き合い、持続可能で豊かな社会を築くことが社会的責任の一環であると考えております。グループ全体で技術と現場をつなぎ、再資源化のあらゆるループを作り、お客様の期待を超える感動的なサービス、商品を生み出してまいります。

特に、本業である資源リサイクル事業を中心に、リユース、リメイク、リペア、リビルド、ITツール開発、リサイクル環境設備等のサーキュラーエコノミーの推

進に欠かせないリソースを活用し、社会に新たな価値を生み出します。

グループ各社がそれぞれの専門性を発揮しながら連携し、機能するサーキュラーエコノミーのモデルを実社会に根付かせていく。

これが私たちの果たすべき役割であり、挑戦でもあります。

サイクラーズグループは、大胆かつ誠実に、循環型社会の実現に向けて邁進いたします。

ステークホルダーの皆さまと未来をつくるパートナーとして共に歩んでまいりますので、引き続きご理解とご支援のほどお願い申し上げます。

サイクラーズ 株式会社
代表取締役 **福田 隆**



Purpose・Vision・Value

サーキュラーエコノミーを追求し、 持続可能で豊かな社会をつくります。

サイクラーズグループの中核を担う東港金属は、
1902年に非鉄金属の卸売業者として創業し、
金属スクラップと産業廃棄物のリサイクル事業を通じて、循環型社会への貢献を続けてきました。

2020年9月には、この取り組みを加速させるために、純粋持株会社であるサイクラーズを設立し、
サーキュラーエコノミー（循環型経済モデル）のインフラストラクチャを発展させる方向へと移行しました。

サイクラーズグループは、再循環のパートナーとして、
ステークホルダーの皆様からのご支援とご協力を頂き、より具体的に事業を展開することにより
サーキュラーエコノミーを追求し続けて、動脈産業との連携を強化してまいります。

すべてのものに再循環をもたらします。

資源リサイクルや資源循環の高度化に向けた取組みのみならず、
あらゆる資源循環を推進させることにより、
静脈・動脈産業の垣根を越えて大きな役割を果たしてまいります。

グループの行動指針・価値観

テクノロジー
Technology

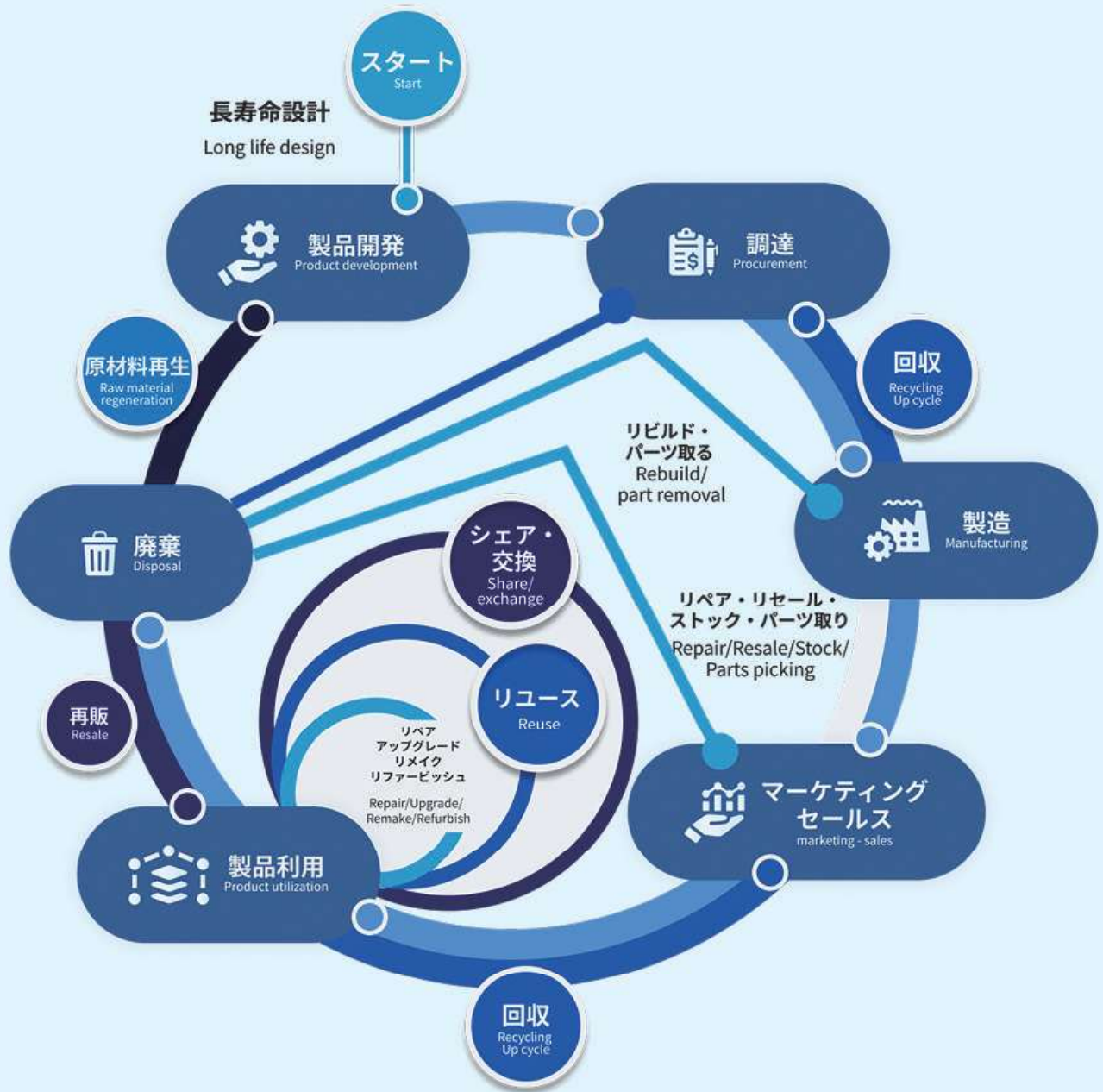
感動
Emotional Impact

誠実さ
Integrity

挑戦
Challenge

スピード
Speed

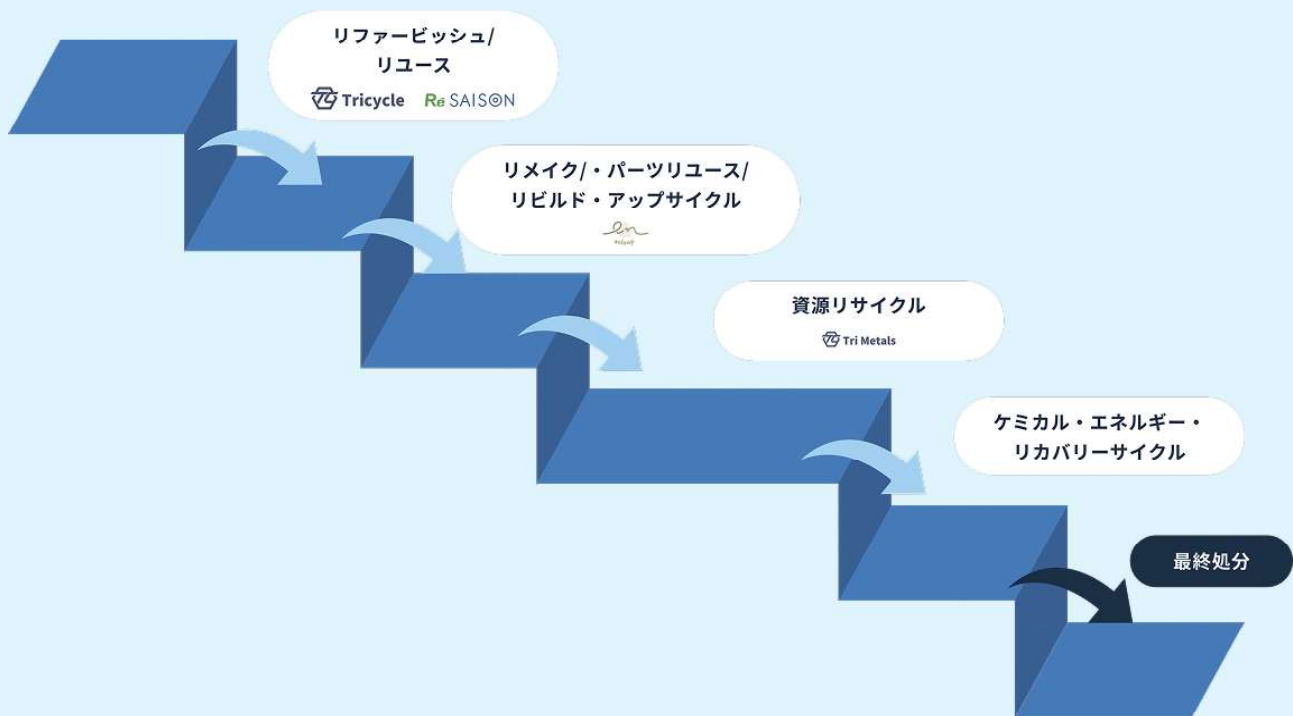
サーキュラーエコノミーの概念図



サーキュラーエコノミーとは？

サーキュラーエコノミーとは資源を再生し続ける循環型経済。すべてのサプライチェーンにおいて、資源を最大限に活用し、それらの価値が目減りすることなく再生・再利用し、循環し続ける経済構造のことです。これまでのリサイクル業では、大量消費リサイクルのなかで廃棄物を活用することにしか対応できていませんでしたが、この大きな経済転換のなかで、リユース、リメイク、リファービッシュ、資源製造、なども含めた、複数の輪に対応する必要があります。サイクラーズグループでは、廃棄物の収集運搬から再資源化に至るまでのソリューションを提供し、資源を無駄なく最大限有効活用することを追求していきます。

カスケード式再循環選択



カスケード式リサイクル

廃棄物処理の前に、価値の高い循環方法を提供するために、水平リサイクルだけでなく、カスケード式リサイクルに取り組み、規模や階層を下げてでも長く使え、環境負荷が少なくリサイクルを実現します。

「残存価値の
最大化」

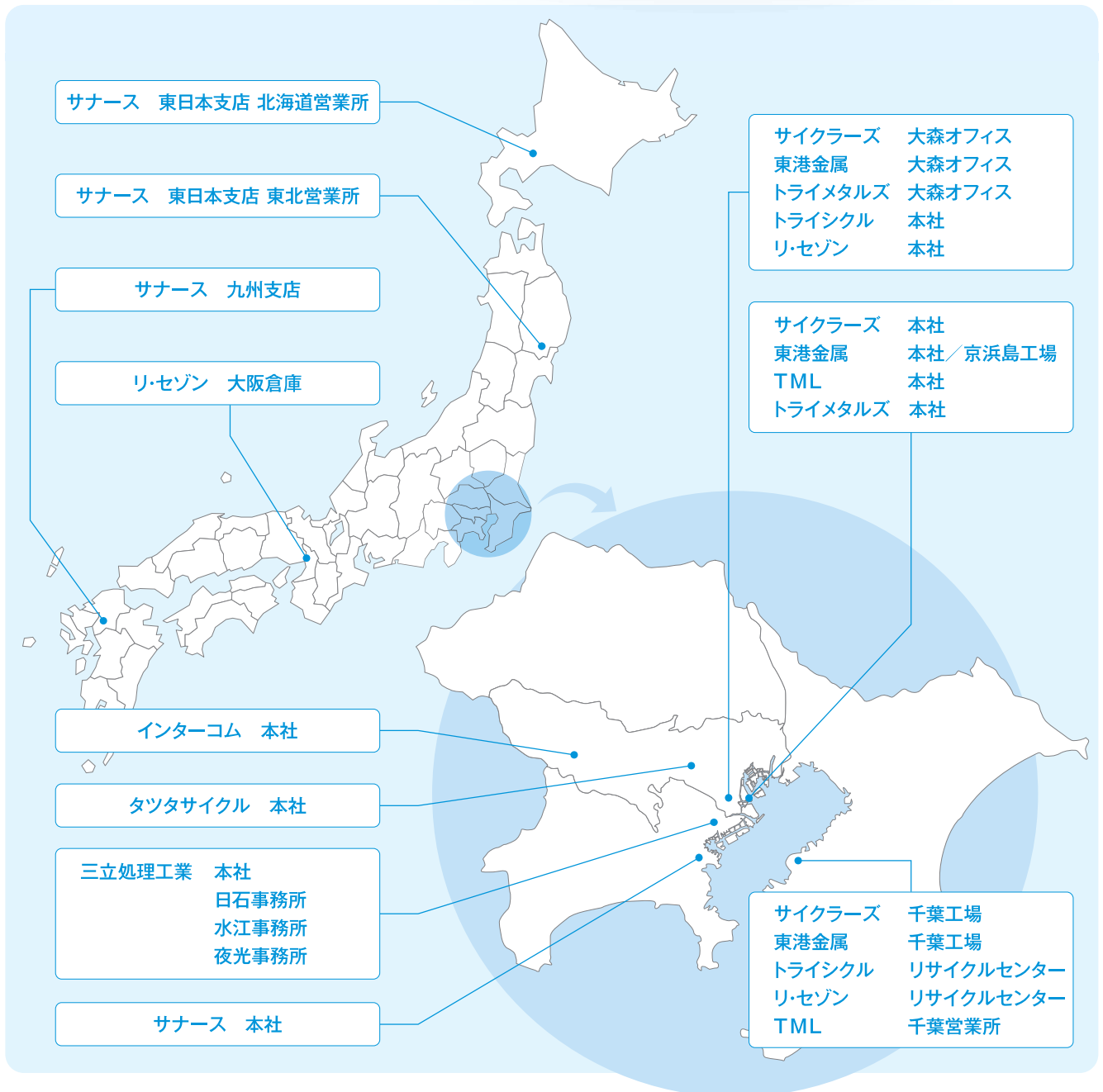
「環境負荷低減」

「コスト削減」

「リサイクル率の
向上」

「再資源利用の
多角化」

サイ클ーズグループ 主な事業概要



社名	サイ클ーズ株式会社 (Cyclers Co., Ltd.)	
代表者	代表取締役 福田 隆	
設立	2020年9月	
資本金	1億円	
決算日	12月31日	
従業員数	15名 / グループ連結 390名 (2024年12月末時点)	
主要取引銀行	横浜銀行 商工組合中央金庫 千葉銀行 りそな銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行
事業内容	事業会社及びグループの経営管理並びにこれに付帯又は関連する業務	

資源リサイクル事業



東港金属株式会社

1902年創業。グループの中核を担い120年以上の歴史を持っています。非鉄金属のリサイクル工場を構え、金属スクラップのリサイクル、産業廃棄物の中間処理を幅広く手掛けています。



TML株式会社

グループ内の物流を支える収集運搬会社。幅広い車種で産業廃棄物、金属スクラップ、リユース品などを運搬しています。



トライメタルズ株式会社

鉄、非鉄金属、製鋼原料の輸出入を手掛ける資源商社です。



トライシクル株式会社

企業間リユースプラットフォーム「ReSACO」、産廃・建廃の電子契約システム「EcoDraft」、環境ビジネスのDXを実現します。



株式会社リ・セゾン

クレディセゾンとサイクラーズの合併会社。資産の引揚げ、再販を行っています。



三立処理工業株式会社

液状廃棄物の収集運搬と処分、清掃作業などを強みとして、お客様のニーズに合わせた総合的なサービスを提供しております。

サーキュラーソリューション事業



株式会社タツタサイクル

独自のEC販売で、スポーツサイクル等の自転車やオートバイの用品を取り扱っています。



株式会社インターコム

通信キャリア向けのシステム開発から、ITインフラの構築、廃棄物工場の現場向けDXを手掛けています。



株式会社サナース

全国に営業所を持ち、ヨーロッパ製の、高性能処理、選別機、マテハン機の輸入販売、保守を行っています。

特集 2024年度グループin会社紹介 三立処理工業

社名	三立処理工業株式会社
設立	1962年6月
売上高	9.5億円(2024年5月期)
従業員数	32名(契約社員含む)(2024年12月末時点)
本社所在地	〒210-0847 神奈川県川崎市川崎区浅田4丁目16番7号
主要株主	サイクラーズ株式会社 100%
事業内容	産業廃棄物収集運搬業、積替保管及び清掃作業等

■沿革

- 1967年7月 ● 株式会社三立商会を設立する
- 1971年2月 ● 三立処理工業株式会社に改称
- 1972年6月 ● 産廃処理事業協同組合(現:協同組合クリーンテクノかながわ)を設立
- 1993年6月 ● 特別管理産業廃棄物の許認可を各都道府県・政令指定都市より取得
- 1996年1月 ● 海上運搬による広域処分体制を確立。JR貨物でのレール輸送も拡大
- 2003年6月 ● 広域処分拡大の為に白石事業所を拡充。車両基地の夜光事業所を開設
- 2005年12月 ● ISO14001:2004取得
- 2011年9月 ● 収集運搬の許認可における優良認定を取得
- 2012年10月 ● PCB廃棄物の収集運搬(抜油及び積替保管)事業を開始
- 2024年1月 ● サイクラーズ株式会社のグループ企業となり、代表取締役任に青木卓が就任

■代表メッセージ

当社は昭和42年に創業し、京浜工業地帯であるこの川崎地区に60年以上にわたって事業を展開してきました。今までやってこられましたのは、常日頃からご協力をいただいているお取引先様、及び日々の業務を誠実に遂行している従業員のお陰です。これまでのご支援、本当にありがとうございます。

そしてこの度、当社はサイクラーズグループの一員となりました。サイクラーズグループは産業廃棄物や金属スクラップのリユース、リサイクルを通じてサーキュラーエコノミーを追求する企業グループです。

資源循環(サーキュラーエコノミー)の必要性が高まる中で、液状廃棄物及び処理困難物の収集運搬及び課題解決の専門家として、サイクラーズグループの一翼を担っていきたくと考えています。

また当社は、新しい取り組みにも挑戦をしていきたいと考えております。特にデジタルテクノロジーを最大限活用し、従業員の安全性と業務の効率性を高め、職場環境の充実と高い生産性の両立を目指していきます。また取引先に対して、よりレベルの高いサービスの提供を目指していきます。

最後に、当社はサイクラーズグループの一員として、これまで以上にお取引先様、従業員及び地域社会のすべてに貢献できるように努めてまいります。

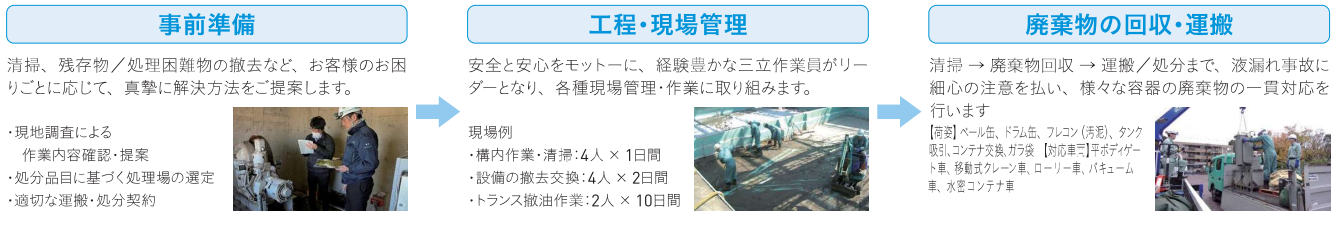
今後とも当社に変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三立処理工業株式会社
代表取締役 青木卓

3つの特徴

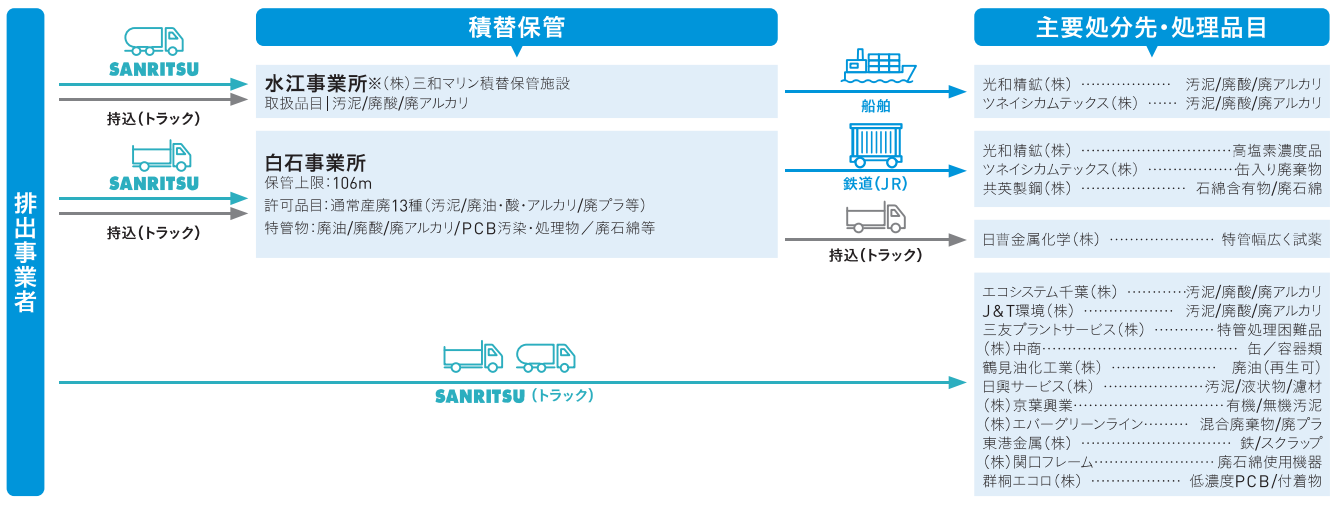
廃酸・廃アルカリ・廃油・汚泥をはじめとする液状廃棄物の収集運搬と処分を強みとしております。多様な積保施設、車両やJR貨物・船舶の取扱いあり。廃棄物の特性に合わせた専用の方法で、安全・確実な運搬を実現します。

01 現場作業・管理の一貫サービス



02 多様な処分ルート

多様な車両と処分施設を確保。廃棄物の品目に合わせて、適切な運搬方法・処分先をご案内します。



03 鉄道・船舶での広域運搬

鉄道では主に高塩素濃度品 / 缶入り廃棄物 / 石綿含有物 / 廃石綿を、船舶では主に汚泥 / 廃酸 / 廃アルカリを運搬。廃棄物の品目に合わせた、適切な運搬方法をご案内します。

鉄道運搬	船舶運搬
<p>積替保管</p> <p>積保施設:白石事業所 場所:神奈川県川崎市川崎区白石5 キャパシティ:保管上限106m³ 受入荷姿:缶、ドラム、段ボール 出荷様式:JR 5tコンテナ</p>	<p>積替保管</p> <p>積保施設:水江事業所 場所:神奈川県川崎市川崎区水江1-2 キャパシティ:タンク5基 / 3300m³ 受入荷姿:バキューム / ローリー車 出荷様式:船舶</p>
<p>処分場</p> <p>主な処分先:ツネイシカムテックス 場所:広島県福山市 処理能力:186.9t / 日 × 2基 三立実績:約1千t / 年 処分方法:焼却・溶融</p>	<p>処分場</p> <p>主な処分先:光和精鉱 場所:福岡県北九州市 処理能力:533.8t / 日 三立実績:約20千t / 年 処分方法:焼却</p>
<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高い効率性 ●運搬効率UP。コスト削減 ●顧客持込の対応OK ●困難物の受け入れ ●抜缶困難物の受入 ●特管品の受入 ●環境対応 ●モーダルシフト / CO2削減 	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BCP(事業継続計画) ●バレル品品の処分複雑化 ●積保パージのバツファ活用 ●困難物の受け入れ ●高塩素廃液の受入 ●環境対応 ●リサイクル 100% ●モーダルシフト / CO2削減

特集 2024年度グループin会社紹介 サナース

社名	株式会社 サナース
設立	2010年3月12日
資本金	1000万円
従業員数	96名（2024年12月末時点）
本社所在地	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町178
事業内容	・農林業関連機械、荷役関連機械、リサイクル関連機械の輸入販売、提案。 ・上記機械のメンテナンス及びスペアパーツ販売 ・リサイクル工場のライン設計



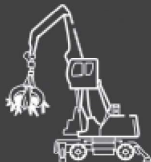
破碎機・ふるい機



林業機械



港湾荷役機械



マテハン機



選別機



土木関連機

■代表メッセージ

私たちサナースは、欧州からの先進的な農林業関連機械、荷役関連機械、リサイクル関連機械を日本国内にご提案、販売、アフターサポートをご提供しています。

日本の基盤を支える農林業、リサイクル、日本の物流を支える荷役関連業界の皆様の事業発展のお手伝いすることで日本の経済活性化に寄与することが使命だと考えております。

お客様の事業が円滑に進み、機械が安全かつ効率的に稼働するための提案力、技術力を日々研鑽すること。また、技術的課題に『誠実に』向き合い解決策を見出すこそが私たちスタッフ全員の喜びです。

さらに、私たちは、お客様だけでなく事業に関わる

すべての人々との関係を大切にします。

メーカーや仕入先様、サービス協力会社様など、私たちのビジネスパートナーへの敬意と強固な関係構築は、お客様へ高品質な製品とサービスを提供するための基盤となります。

私たちはパートナーとの信頼関係を築き、維持することで、より高い価値をお客様へお届けします。サナースは、これからも『誠実さ』を貫き、事業に関わるすべての方々との関係を大切にしながらお客様と共に成長してまいります。

株式会社サナース
代表取締役社長 阿部 智

Machine-Park 木更津マシンパークの紹介

充実した設備と機能で効率的な機械選定が可能

木更津マシンパークは、千葉県木更津市に位置する環境機械のショールームです。敷地面積1万平方メートルの広大な施設内には、パーツセンターとQCセンターの機能がごさいます。パーツセンターには13,000種類、20万点ものスペアパーツが保管されており、お客様からの部品請求に迅速に対応することができます。QCセンターでは、経験豊富な技術者が品質管理を行い、機械の修理やチェックにより高い品質を維持しています。充実した設備と機能を備えた木更津マシンパークでは、効率的な機械選定とメンテナンスが可能です。



国内外の多様な機械の見学・試乗で性能を実感

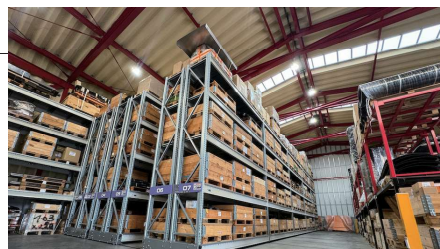
木更津マシンパークでは、国内外の多様な環境機械を見学・試乗することができます。破碎機、マテハン機、チッパーなどの主要機械があり、それぞれの機械の特徴や用途を理解していただくことが可能です。

国内製の機械と比較することで、海外製機械の生産性の高さを実感していただけます。また、パーツの豊富さによるメンテナンスの容易さを確認することができます。

実際に機械を見て、触れて、操作することで、導入前に性能を十分に理解することができます。

専門家によるアドバイスで最適な機械選定をサポート

木更津マシンパークでは、経験豊富な専門家が機械選定をサポートします。お客様のニーズや用途に合わせて、最適な機械をご提案します。機械選定のポイントや、導入後のサポート体制についても詳しくご説明します。アフターサービスや部品供給体制など、長期的な視点でのアドバイスを提供し、お客様に安心して機械を導入していただけるようサポートします。専門家との直接の対話を通じて、お客様の事業に最適な機械を選定していただくことができます。木更津マシンパークは、充実した設備と機能、多様な機械の見学・試乗、専門家によるアドバイスにより、お客様の事業に最適な環境機械の選定をサポートします。ぜひ一度、木更津マシンパークにお越しください。



SSL サナースソーティングラボの紹介

高度選別に必要な4Sを実践出来るテストセンター「Sun-Earth Sorting Lab.」

SSLの最大の特徴は、高度選別を行うためのセンサー選別機の選別テストだけでなく、その前処理（分粒、磁選、風力選別）も含めた、より実践に近いテストを行える設備を取り揃えている点になります。4Sコンセプトを重視した提案を行っており、この4つの重要な工程の最適化を検証できる施設となっております。

- 【4Sコンセプト】** 1. Stream management — 定量供給 — 2. Screening — 粒度管理 —
3. Separation — 物性分別 — 4. Sorting — 高度選別 —



目的に応じた比較検討が可能です。

金属スクラップだけでなく、ASR（自動車破碎残渣）、産業廃棄物、焼却灰などさまざまな選別テストに対応でき、目的に応じた機械の組み合わせによりプロセスの比較検討が可能です。

- 設置設備** シュタイナート社（ドイツ）製の光学選別機「KSSコンビネーションソーター」
過電流選別機「エディーシー」、ドラム型選別機「MOR」
近赤外線選別機「ユニソートシリーズ」
シュバレック社（ドイツ）製の3Dスクリーン選別機「コンビスクリン」
ニホット社（オランダ）製の循環式風力選別機「ウィンドシフター」

専門的なアドバイスで機械選定や事業提案をサポート

4Sを実践可能な機械を揃えていて実際の生産工程に近いことができるのはSSLが日本で唯一です。材料を持ち込んでもらえば、どれだけの品質の製品製造が可能かを実証することができます。従来メーカー等では『この機械ではここまでできる』といった提案をしているが、当社では『ここまで分ければ事業として成り立つ』といったところまで想像できるような提案が可能です。



環境(実績報告)

環境マネジメント体制(サイ클ラース、東港金属及びTML)

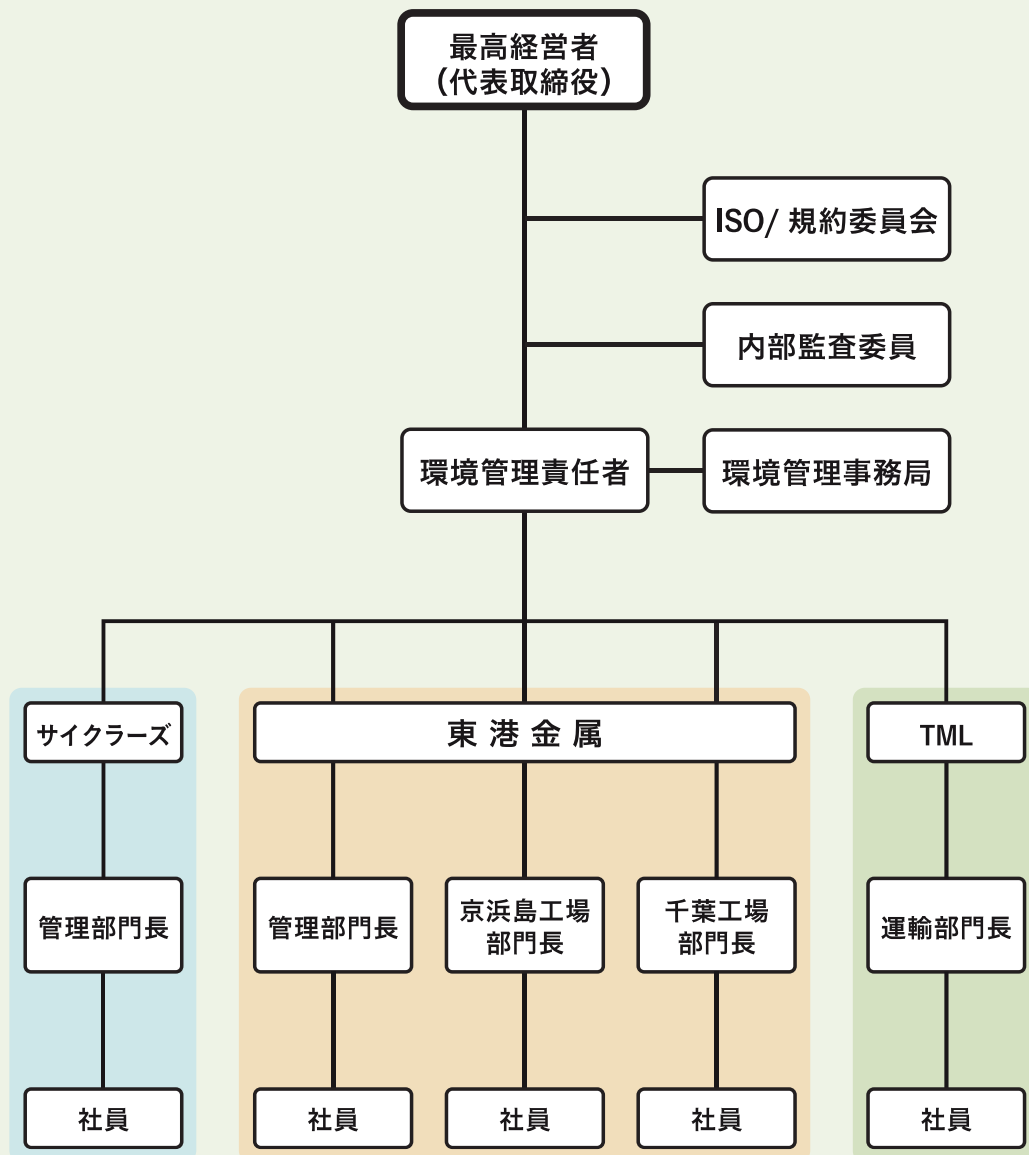
サイ클ラース、東港金属及びTMLは、事業活動の様々な過程において環境負荷が生じることを認識し、環境方針を定め、環境マネジメントシステムのもとで環境負荷を正確に把握し、その低減を通じて、持続可能な開発目標の達成に貢献しております。

環境方針は常に職場内に掲示し、社内に周知させることで、社員が労働災害や労働疾病防止をはじめとする様々な側面を意識し、環境負荷の少ないリサイクル業務に取り組めるよう指導しております。

東港金属は2006年7月にISO14001を認証取得し、TML(当時はトライマテリアル)は2009年7月、サイ클ラースは2021年7月に加わりました。

代表取締役をトップとする推進体制で、定期的にフォローアップをすることで可視化し、環境方針に沿った管理体制の維持向上に努めております。

環境管理体制図



■ 環境方針

サイ클ラース・東港金属

サイ클ラース及び東港金属（本頁では以下、「当組織」という）は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. 当組織の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当組織の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当組織が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当組織より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
 - (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
 - (3) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。
 - (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

TML

TMLは東港金属の協力会社として同社の環境方針に同調し、資源循環型社会の一翼を担う収集運搬業者として、環境負荷の少ない環境活動に取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、環境保全のために尽くします。

1. TMLの事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境パフォーマンス向上のために環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. TMLの環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項、及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. TMLが行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。
 - ・各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、環境負荷削減を推進します。

環境(実績報告)

目標と達成状況

当グループは、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。

このページではISO14001の適用範囲(東港金属本社、京浜島工場、千葉工場、TML及びサイ클ーズ)及び対象期間の年度環境実行計画に基づく環境目標と結果を抜粋し掲載いたしました。

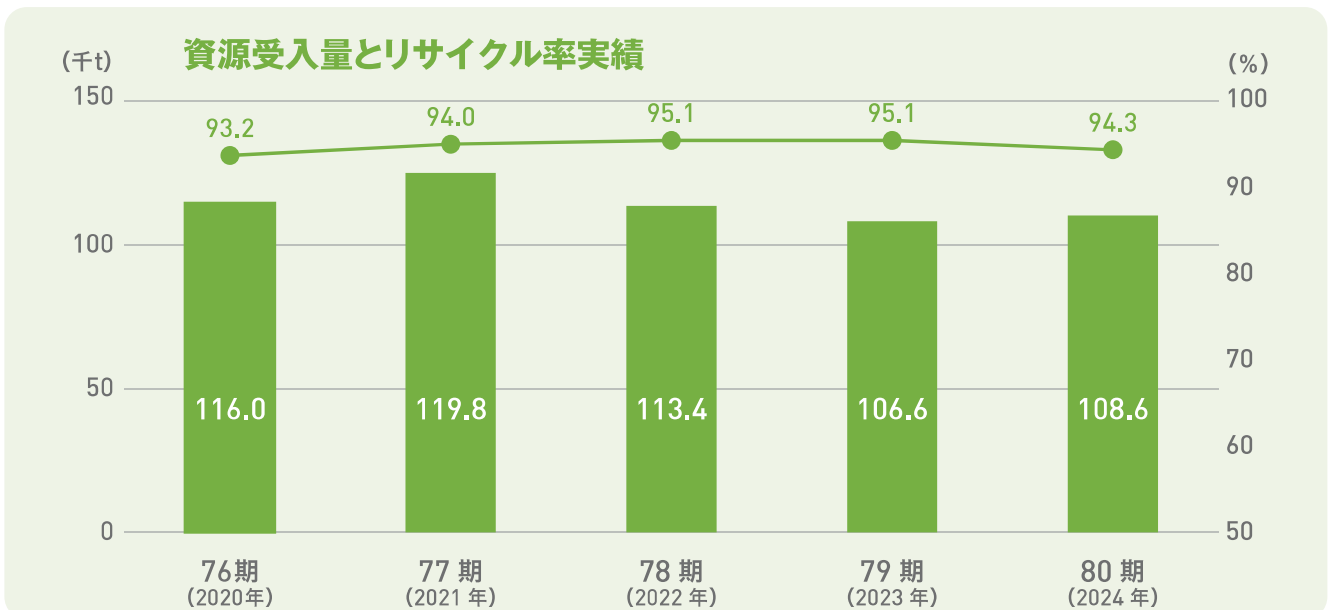
部門	推進項目	施策	期間目標	結果・数値	達成状況
全社共通	資源受入量の拡大※1	(1)仕入先の拡大(営業活動)	108,395 t/年	108,586 t/年	Clear ☑
京浜島工場・TML	燃料使用量の削減(運搬車輛)※2	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)急発進の防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)車輛の定期点検・整備	1,028 ℓ/千トン	1,011 ℓ/千トン	Clear ☑
	燃料使用量の削減(重機車輛)※3	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)効率的な積み降ろし・運搬 (4)車輛の定期点検・整備(5)	1,700 ℓ/千トン	1,570 ℓ/千トン	Clear ☑
	電力使用量の削減※4	(1)破碎機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	12,060 kWh/千トン	11,914 kWh/千トン	Clear ☑
千葉工場	電力使用量の削減※5	(1)破碎機モーター稼働時のライン設備トラブル減少 (2)定期的メンテナンスの実施	45.80 kWh/トン	36.93 kWh/トン	Clear ☑

※1 資源受入量は、京浜島工場と千葉工場への新規受入量の合計です。 ※2 燃料使用量原単位(運搬車輛) = 運搬車輛燃料使用量/京浜島工場入出荷量

※3 燃料使用量原単位(重機) = 重機用燃料使用量/京浜島工場入出荷量 ※4 電力使用量原単位(京浜島工場) = 電力使用量/京浜島工場入出荷量

※5 電力使用量原単位(千葉工場) = 電力使用量/千葉工場入出荷量

注) ※2～5の項目は、月毎の目標管理を行っておりますが、ここでは年間平均での達成状況を記載しております。

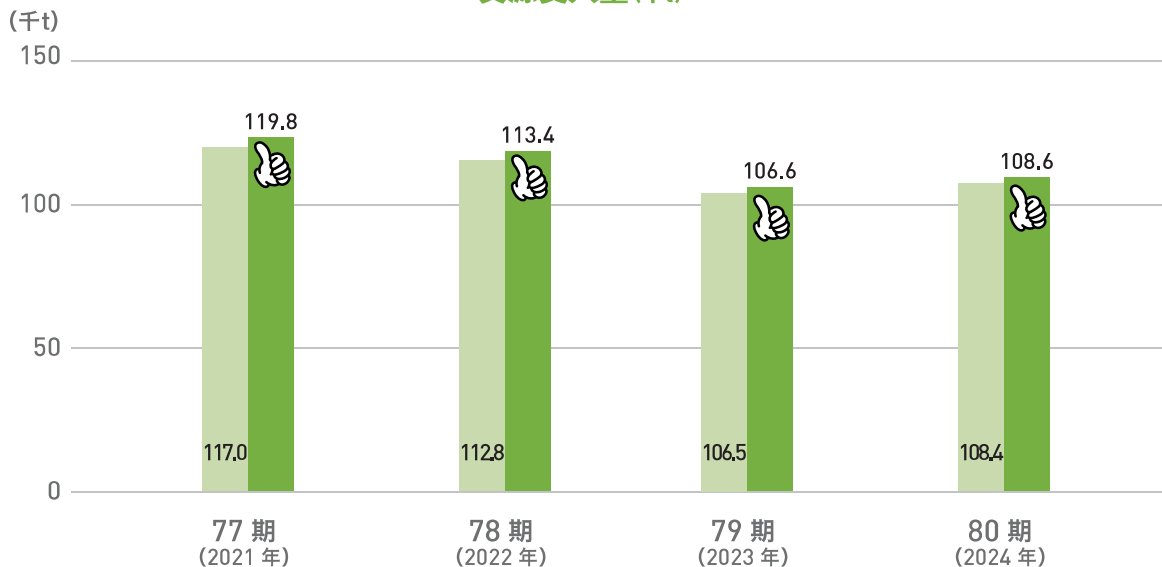


リサイクル率 = 1 - (最終処分場への埋立量/資源受入量)

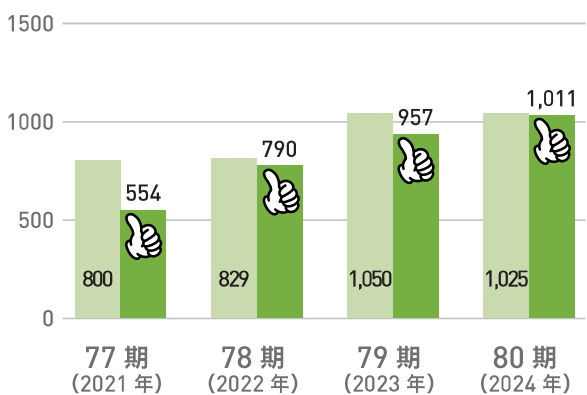
過去の目標達成状況および推移表

は年度目標値
 は年度実績値
 👍 は年度目標値を達成

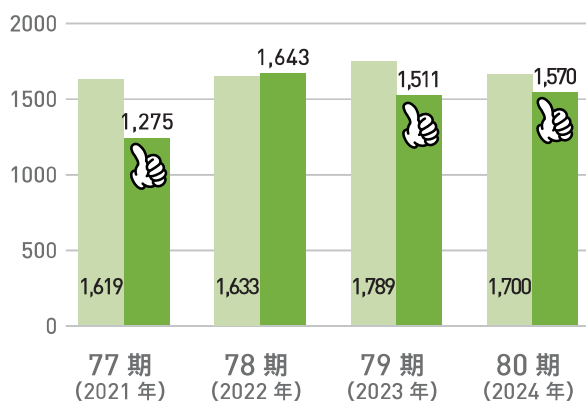
資源受入量(千t)



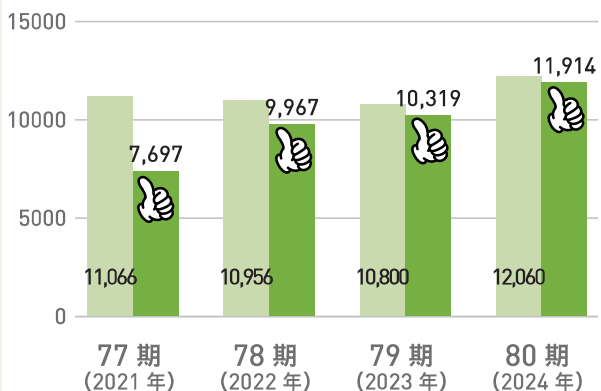
燃料使用量(運搬車両) (ℓ/千t)



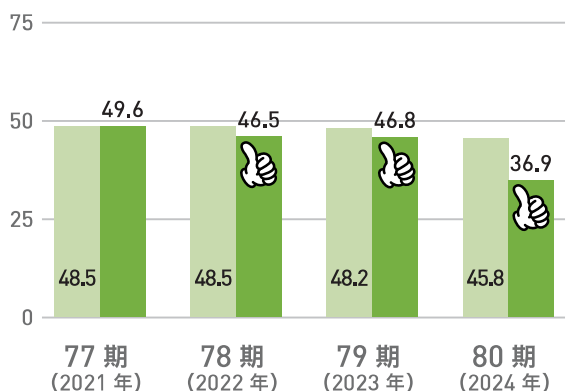
燃料使用量(重機車両) (ℓ/千t)



電力使用量(京浜島工場) (kWh/千t)



燃料使用量(千葉工場) (kWh/千t)



環境(実績報告)

工場環境への取り組み

当グループは、事業活動、製品及びサービスが環境に影響を与える原因・活動を常に認識して、周辺地域への環境に配慮し、環境負荷低減・予防に努めております。

東港金属 京浜島工場(右記の環境調査結果では本社工場と記す)、千葉工場の操業に伴って発生する騒音・振動・粉じん及び構内から排出される雨水の含有成分を自主的に測定し、開示しています。

第80期の測定値は規制基準値(もしくは自主規制基準値)内でした。今後とも環境負荷低減に努めてまいります。右記の環境調査結果(概要版)は当グループのホームページにて開示しております。

環境会計

当グループのサイ클ラズ、東港金属及びTMLとしての環境会計の算出方法を模索しておりますが、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、当環境マネジメント適用組織の本業が環境活動そのものであるため、環境保全コストの把握が困難であり、今後の課題とさせていただきます。

＜参考＞「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。

平成12年3月 環境庁 環境会計システムの確立に関する検討会 「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋

グリーン購入の促進

循環型社会の形成のためには、「再生品等の供給面の取組」に加え、「需要面からの取組が重要である」という観点から、平成12年5月に循環型社会形成推進基本法の個別法のひとつとして「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購法)」が制定入されました。

同法は、国等の公的機関が率先して環境物品等(環境負荷低減に資する製品・サービス)の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指しています。

当グループでは社内の物品調達について、共有使用できるものやリユースできるものの再使用をすすめておりますが、購入に際しても、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を、カタログ等に記載されたエコマーク等を参考に積極的に購入・使用することとしております。

【参考となる環境ラベルの例示】

	オフィス家具等	消費電力			制服・作業服等	
						
エコマーク	JOIFA グリーンマーク	国際エネルギー スタープログラム	省エネラベリング制度		エコユニフォーム マーク	PETボトルリサイクル 推奨マーク

環境省「グリーン購入の調達者の手引き」より

バリューチェーンにおける環境配慮等の取り組み方針

当グループのサイ클ラズ、東港金属及びTMLは事業活動におけるバリューチェーンに係わる全ての環境に対する影響の把握に努め、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。



第80期 東港金属株式会社環境調査結果(騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水)

調査実施機関:株式会社環境総合研究所(計量証明登録 東京都第592号、音第97号、振動1号)

調査期日:本社工場:2024年6月20日(木)

千葉工場:2024年7月1日(月)

調査方法:当該地域を規制する条例等の調査方法を採用(詳細は、弊社ホームページをご覧ください)

調査結果:適否の欄の記号は次のとおり。○:規制基準を満足 ×:規制基準を超過

1.騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	13:00～13:10	64dB	○	70dB(参考)	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界(南)	10:26～10:36	57dB	○	70dB	工場内の稼働音

注)本社工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第4種区域の規制基準を参考に示した。
千葉工場:工業地域であるため、第4種区域の基準を当てはめた。

2.振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界(東)	13:00～13:10	46dB	○	65dB(参考)	工場稼働
千葉工場	敷地境界(南)	10:26～10:36	46dB	○	65dB	工場稼働

注)本社工場:工業専用地域であり規制基準は適用されないため、第2種区域の規制基準を参考に示した。
千葉工場:当該地域は工業地域であるため、第2種区域の基準を当てはめた。

2.悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果(臭気指数)	適否	規制基準(参考)
本社工場	敷地境界(東)	11:21	<10	○	13
	敷地境界(北)	11:38	11		
千葉工場	敷地境界(風上)	9:50	14	○	-
	敷地境界(風下)	10:00	<10		

注)本社工場:当該地域は工業専用地域であるため、第3種区域の基準値をあてはめた。
※ 蕨市に市民臭気規制制度があり、臭気指数制限値はまだ規定されていない。

4.粉じん

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果	適否	規制基準(参考)
本社工場	敷地境界(東)	9:45～13:45	0.083mg/m ³	○	1.5 mg/m ³ (参考)
千葉工場	敷地境界(南)	9:32～12:32	0.096mg/m ³	○	1.5 mg/m ³ (参考)

注)東京都、千葉県ともに施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに茨城県条例で粉じん発生施設に適用される基準値と比較した。

5.雨水排水

「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。
調査項目:・水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質(SS)、n-ヘキサン(鉱油)、n-ヘキサン(動植物油)、フェノール類、銅及びその化合物、亜鉛及びその化合物、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量、クロム及びその化合物、窒素含有量、燐含有量、カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機燐化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀化合物、アルキル水銀化合物、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物、1,4-ジオキサン、沃素消費量、温度

京浜島工場



騒音・振動



悪臭



粉じん



水質

千葉工場



騒音・振動



悪臭



粉じん



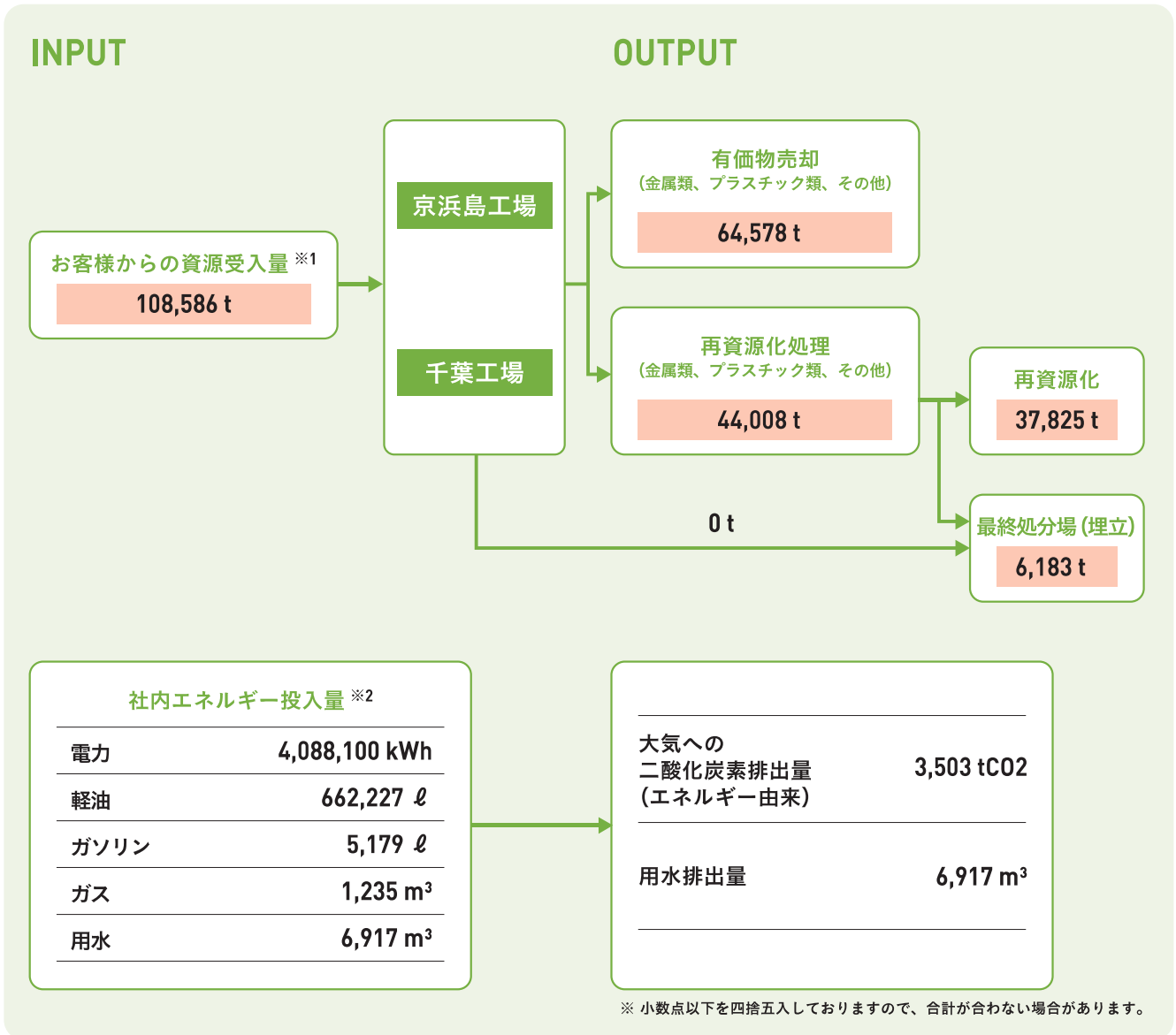
水質

環境(実績報告)

マテリアルバランス

当事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。

第80期(2024年1月～12月)の主な環境負荷は以下の通りです。



二酸化炭素排出量計算(排出係数)の根拠

- ・電力: 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)
R5年度実績 R7.3.18環境省・経済産業省公表R7.7.18、R7.7.28、R7.8.1 一部追加・更新 より
- ・ガス: ガス事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)R6年度供給実績
R7.6.30環境省・経済産業省公表 より
- ・電力・ガス以外: エネルギー源別標準発熱量・炭素排出係数一覧2025年3月改訂(経済産業省・資源エネルギー庁)より

※1 資源受入量は、京浜島工場と千葉工場への新規受入量の合計です。

※2 社内エネルギー投入量は、ISO14001適用範囲であるサイクラーズ、東港金属及びTMLの投入量の合計です。

環境関連法規制遵守の状況

東港金属及びTMLの事業に係る主な環境関連法規制は以下のとおりです。

2024年で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境側面	法・条例等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	該当施設等	該当部署	必要資格				
地球温暖化	工場立地法	駐車場及び緑地面積:8%以上	京浜島工場敷地	京浜島工場	-				
		敷地緑地20% (8315m ²)以上	千葉工場敷地	千葉工場					
排気ガスの放出	大気汚染防止法	ばい煙排出基準規制値遵守 ばい煙量の判定監視	非常用ディーゼル発電機	千葉工場	-				
自動車運行	道路交通法	自動車免許、速度制限、積載制限、アルコールチェック	運搬車両自家用車	運輸部門 営業部門	運転免許				
	Nox・PM法	規制対応車輛			-				
	道路運送法	運行管理者の選任			運行管理者				
[業]廃棄物の受入れ 収集運搬及び処分業	廃棄物処理法	廃棄物の収集運搬及び処分業の許可	業としての 被処理物の受入	全部署	収集運搬業(積替保管) 中間処理業 古物商 破碎・リサイクル施設 技術管理士 廃棄物処理責任者				
		廃棄物の保管施設への掲示板の設置							
		委託基準の順守							
		産廃物搬出入時のマニフェスト伝票管理、及び行政への実績報告							
		破碎リサイクル施設技術管理士の選任							
[事業者] 廃棄物の排出	廃棄物処理法	廃棄物処理責任者の選任	業務全般からの排出	全部署					
		二社契約:許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載							
		産廃最終処分業者の処分場視察							
		環境に負荷を与えない施設の維持管理							
		資源化を推進し、最終処分量の削減							
廃家電の受入・保管	家電リサイクル法	家電リサイクルの受入れ保管	特定家庭用機器廃棄物	運輸部門	積替保管施設				
		家電リサイクルの指定引取場所への搬出							
トラックスケールの使用	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定(1回/2年 検査の実施)	トラックスケール(20t, 40t, 50t)	生産部門(京浜島工場)	-				
			トラックスケール(60t)	生産部門(千葉工場)					
フロン類の回収 フロン使用機器	フロン排出抑制法	東京都知事及び千葉県知事による登録	業としての受入・回収	生産部門 営業部門	第一種フロン類充填 回収業者 冷媒回収技術者				
		適正回収、工程管理制度、回収証明書の交付、及び行政への実績報告							
		エアコン機器				簡易点検	エアコン	全部署	-
						定期点検	エアコン	全部署	冷媒フロン類取扱技術者※
悪臭の発生	悪臭防止法	臭気指数基準の順守(年一回以上の検査)	京浜島工場	生産部門	-				
		臭気指数基準を参考に年一回以上の自主検査	千葉工場	生産部門					
火災の発生	消防法	少量危険物の貯蔵量	少量危険物貯蔵取扱所	生産部門	少量危険物取扱者				
		指定可燃物の貯蔵量	指定可燃物貯蔵取扱所	生産部門	-				
水銀廃棄物の管理	廃棄物処理法施行令	水銀廃棄物の適正な管理	運搬車両	運輸部門	収集運搬業				
安全・衛生	労働安全衛生法	安全管理者の選任	全域	全部署	衛生管理者				
		安全衛生管理者の選任			安全衛生推進者				
		安全、衛生委員会月1回の開催			-				
材料及びエネルギー使用を 物品の購入時に考慮	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務用品全般	事務部門	-				
汚染水の排出	水質汚濁防止法	年一回の自主検査による規制基準値の確保	京浜島工場及び千葉工場	生産部門	-				
騒音の発生	騒音規制法	年一回の自主検査による規制基準値の確保(京浜島工場は参考基準値)	京浜島工場及び千葉工場	生産部門	-				
振動の発生	振動規制法	年一回の自主検査による規制基準値の確保(京浜島工場は参考基準値)	京浜島工場及び千葉工場	生産部門	-				
粉塵の発生	粉塵障害防止規則	年1回の自主検査による参考規制基準値の確保	京浜島工場及び千葉工場	生産部門	-				
放射能汚染物質の 搬出入	放射線障害防止法	入出荷物の放射能検査の実施、及び規制値(300nSv)以上の物品の搬出入禁止	入退門トラックスケール	生産部門	-				

※現在、エアコン機器の定期点検は外部業者に委託している。

環境(実績報告)

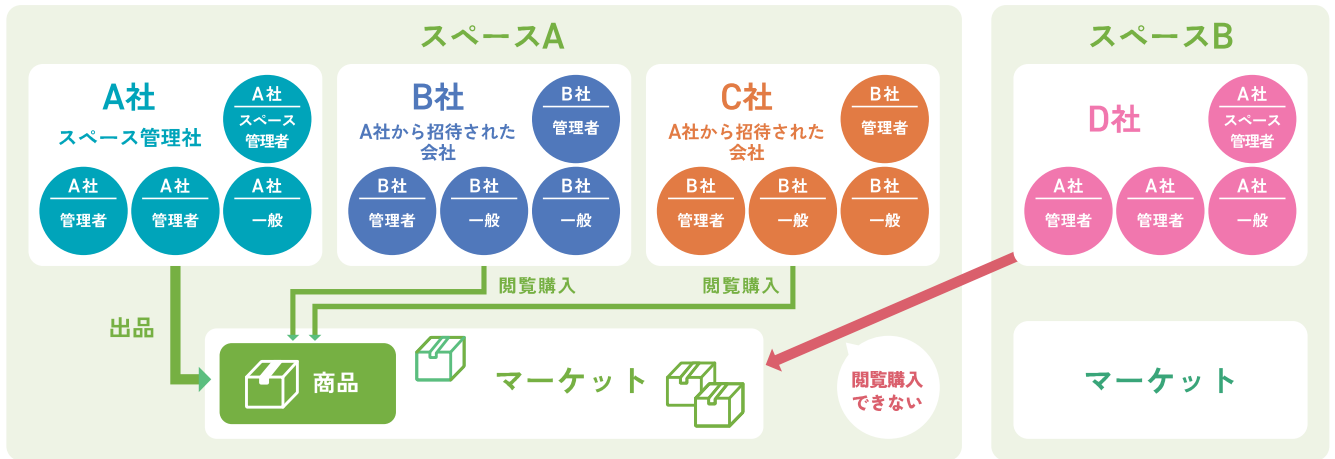
ReSACO(サーキュラーエコノミー対応 BtoB プラットフォーム)

会員制BtoB ECサイトによって、不要品のリユースから最終の処分までワンストップで対応可能です。招待した会社、招待された会社のみ売買可能であり、販売方法も選択できます。最終の処分についてもスクラップ販売、産業廃棄物処理依頼が可能であり、サーキュラーエコノミーを実現できます。



1. 招待した会社にもみ販売可能

A社が商品を出品した場合、閲覧権限があるのはA社、B社、C社のみであり、他スペースからの閲覧並びに購入はできません。



2. 販売価格の方法を、お好みでカスタマイズ

フリマ [売り手指値]

・売り手が指定した金額で売れる

コンペ [買い手提案]

・商品を見た買い手が、買いたい金額とその条件を入力して提案 例えば大量の商品など、引き取りに来てくれる買い手に販売することを優先するケースもある

オークション [買い手入札]

・より高い金額を入札した入札者が購入する形式

EcoDraftwithcloudsign(委託契約の電子化)

産廃・建廃の委託契約を電子化するサービスです。従来、紙で行っていた委託契約を電子化してペーパーレスにすることにより、契約書作成の手間や印紙代・切手代等のコストを大幅に削減します。今後益々普及していくであろう電子契約を安全安心に締結するため、クラウドサインを利用しており、クラウドサインAPI連携を行っているため、エコドラフトで作成した電子契約書をシームレスに合意締結まで行うことができます。多くの会社に導入頂いており、業界のDX推進に貢献しております。





We are enloop



なににも換えられない大切なものはありますか？
わたしたちenloopはモノを通じてひとりひとりの人生に寄り添い、
その縁をたいせつに紡いでいくブランドを目指します。

「人生に寄り添ったモノづくり」 「価値の最大化」

リメイク価値の追求(商品デザイン) 顧客の要求を満たすためのデザインの追求(リユース向けデザイン、リサイクル系デザイン)



リメイク家具



アクリルパネルのリユース



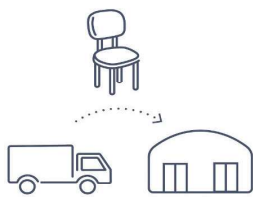
不要品を組み合わせたブーケ



企業コラボ製品

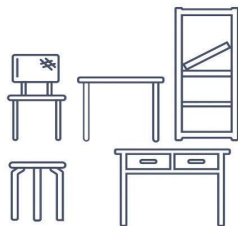
家具リメイクの工程

入荷



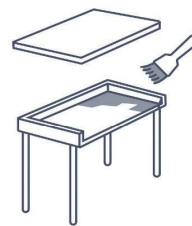
千葉県富津市の
リサイクルセンターへ
不要家具入荷

選定



傷・経年劣化などにより
再販が難しいものを選定

制作



研磨・分解・塗装などの
工程を経てリメイク

完成



EC・イベントを通じて
お客様へお届け



Instagram



HP Online shop

社会(実績報告)

■ 事業所の安全衛生

安全衛生委員会

サイクラーズ、東港金属及びTMLは、事業所別の安全衛生委員会を組織するとともに、労働災害防止に関する8つの分科会を設置しテーマ別に積極的な推進・改善に取り組んでいます。委員会にはサイクラーズの管理部門からも参画しております。

合同職場安全衛生環境会議

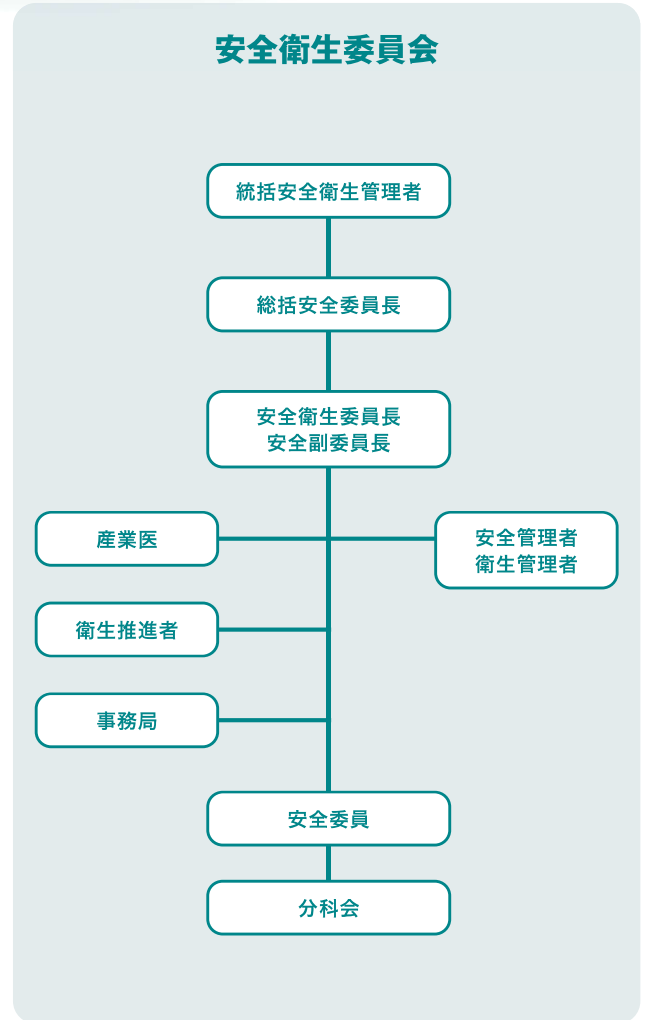
全事業所を対象に合同職場安全衛生環境会議を隔月で定期的開催しております。労働安全や職場環境、メンタルを含む健康問題や職場安全など社員の安全・安心、健康維持に資するテーマについての報告や意見交換を行い、改善アクションにつなげています。

安否確認システムの訓練

災害時に、お客様をはじめ社員や社員の家族の安否と被災情報を把握し、会社として迅速な対応ができるように「安否確認システム」を導入しております。年4回、当該システムの訓練を実施し、非常時に備えております。

防災訓練

東港金属の京浜島工場及び千葉工場では、過去の大震災時の経験を風化させないように、防火・防災・避難訓練を毎月実施しております。また、工場見学のお客様も増えていることから、災害時に適切な避難誘導ができるように、災害・防災の正しい知識と対応を習得するための社員教育に努めています。



事業所周辺の美化運動

東港金属の京浜島工場は大田区の京浜島工業団地に位置し、周りを京浜運河が流れています。この広々とした地域の環境保全を維持し、見学に来られるお客様や搬入車が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝本社工場の道路及び搬入通路の美化清掃を行っています。



■ 環境教育・コミュニケーション

環境教育・社内啓発

当グループ入社時には、環境・衛生の基本教育に加え、当グループの事業を通じた環境保全の取り組みや、事業に伴って生じる環境影響・環境側面を伝えております。また、全社員に向けて、環境マネジメントシステム(ISO14001)の教育を実施し、当グループの環境方針や環境管理体制、継続的な改善活動の重要性を伝え、全社員の環境保全意識の向上に努めております。

『EOM(エンプロイ・オブ・ザ・マンズ)』表彰制度

東港金属、TMLでは、構内作業のヤード部門と物流のドライバー部門それぞれで他の社員の規範となった社員を『エンプロイ・オブ・ザ・マンズ』として毎月表彰しております。

安全運転講習会

当グループでは、物流部門において、プロのドライバーとして責任をもって業務に従事するため、年間教育プログラムを策定し、毎月講習会を開催しているほか、東京都トラック協会主催の交通安全や交通公害についての講習会にも積極的に参加しております。「安全・確実・迅速」をモットーとし、安全が全てに優先することの大切さをはじめとして、エコドライブや道路交通法の確認、周囲への気配り等の社員の意識アップを図っています。

情報紙「羅針盤」の発行

サイクラーズ、東港金属、TML及びトライメタルズでは、業界動向や法令改正の情報などのトピックを中心に情報誌「羅針盤」を、2010年3月以来毎月発行しております。バックナンバーは東港金属のホームページからご覧いただけます。<https://www.tokometal.co.jp/rashinban/>

■ 地域との共生

災害廃棄物の処理支援事業

東日本大震災では災害廃棄物の処理をはじめ、復興プロジェクトに取り組みました。被災地の廃棄物処理場の惨状を目の当たりにし、復興への貢献として、仙台市に隣接する名取市に新たなヤードを開設しました。(2022年7月閉設) 能登半島地震ではお取引先様の事業復旧支援、被災地への日本赤十字社を通じての支援などに尽力して参ります。

自転車競技へのサポート

当グループは環境関連企業として、2011年8月より公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)のオフィシャルスポンサーとして世界で戦う自転車競技代表チームを応援しております。

日本ナショナルチームのユニホームには「サイクラーズ」のロゴも使われています。また、サイクルロードレースチーム『Team Cyclers SNEL』を結成し、2024年1月よりサイクルロードレースチームとしての活動を開始いたしました。アスリートのセカンドキャリア構築を支援し競技と仕事との両立を目指すデュアルキャリアをグループとして実現します。



ガバナンス

■情報セキュリティマネジメントシステム

情報セキュリティマネジメント体制 (サイクラーズ、東港金属、TML及びトライメタルズ)

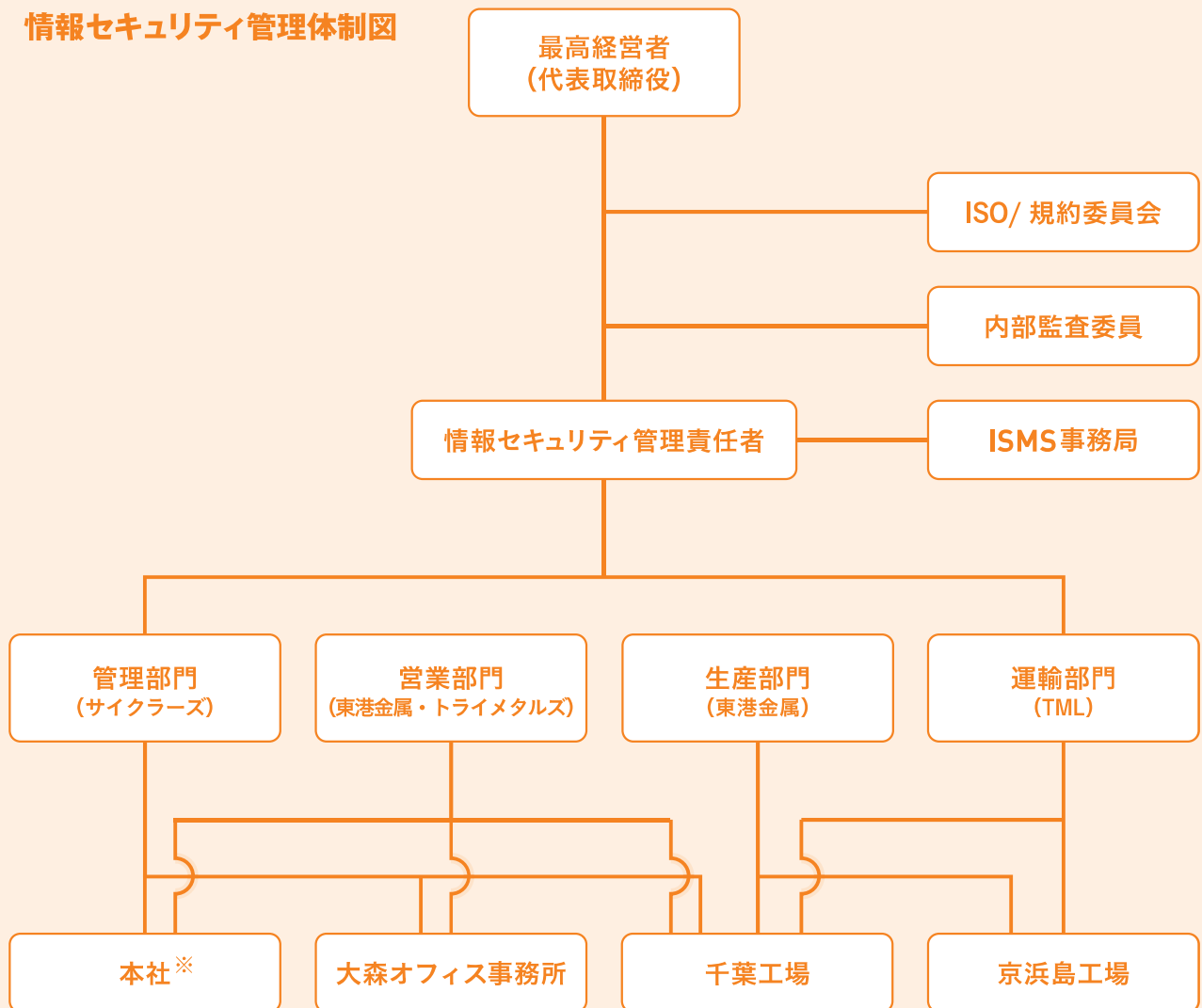
ネット社会の今、不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。

東港金属は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得しており、サイクラーズは2021年4月から、TML及びトライメタルズが2024年4月から加わりました。

また、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」や「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と会社全体の情報セキュリティを推進することが重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて対策を実行しております。

お客様がかけがえのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に社員一人ひとりの意識の浸透を図り、推進してまいります。

情報セキュリティ管理体制図



※本社事務所:サイクラーズ、東港金属、TML及びトライメタルズの本社

■情報セキュリティ基本方針 (サイ클ラズ、東港金属、TML及びトライメタルズ)

1. 目的と活動の原則

サイ클ラズグループ【サイ클ラズ、東港金属、TML、トライメタルズ】(本頁では以下、「当組織」という)は、非鉄金属原料及び製鋼原料等の金属スクラップの加工処理並びに売買、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う関連部門間との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム(以下、「ISMS」という)規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当組織の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報等の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当組織のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当組織の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当組織の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

ガバナンス

■コーポレートガバナンス

当グループは、変化の激しい事業環境を的確に捉え、意思決定と業務執行の迅速化を図るとともに、公正で透明性の高い経営の実現を目指し、ガバナンス体制の強化に取り組んでおります。

企業統治

<基本的な考え方>

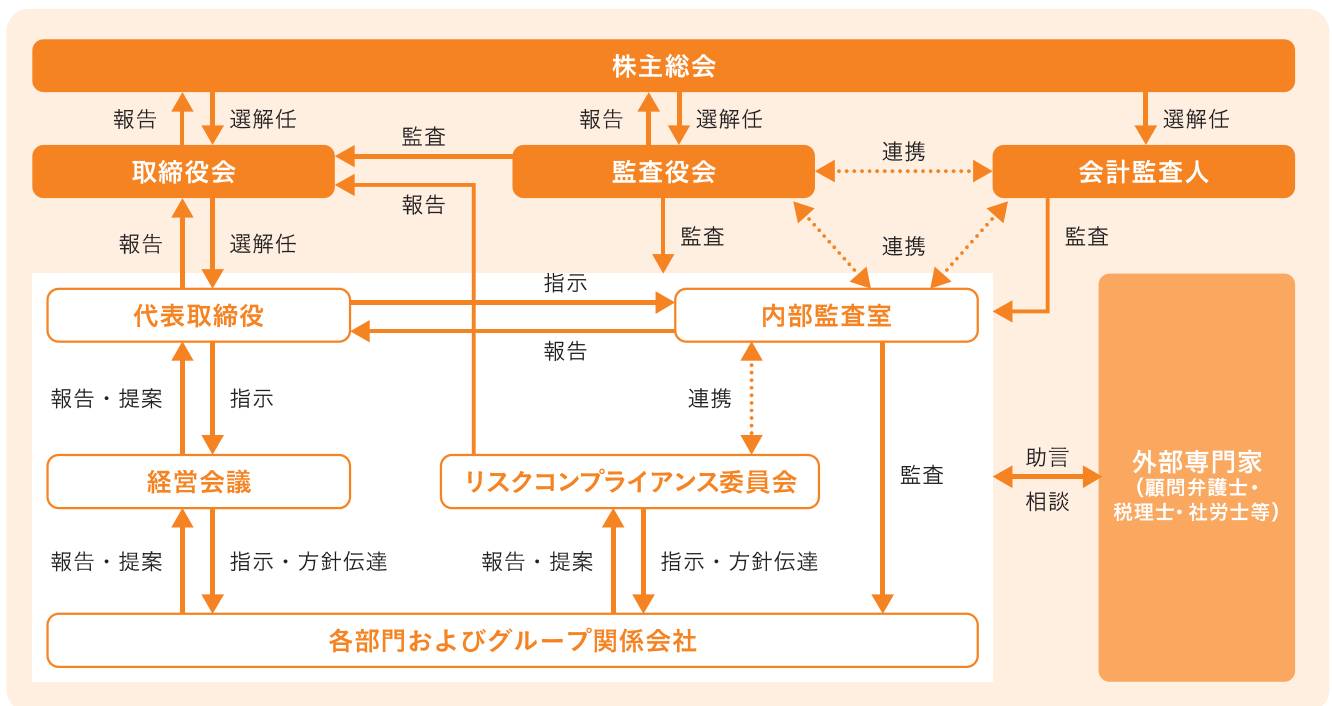
当グループは、金属スクラップおよび産業廃棄物を取り扱う事業者として、経営の透明性、健全性、効率性、倫理性、遵法性の向上・確保を図ることで、企業価値の持続的な拡大を目指します。

サイ클ーズは、当社に関わるすべてのステークホルダーに対して責任ある経営を実現し、長期に亘る企業価値の拡大を実現することを目標としております。

コーポレート・ガバナンス体制

サイ클ーズでは社外取締役2名が2023年5月1日付で選任、取締役会が設置されるとともに、同日付で社外監査役も選任されております。2025年1月現在は、社外取締役3名、社内取締役3名の計6名が取締役会において経営に関わる諸方針を討議・決定する体制になっております。

経営会議は、代表取締役社長の他、執行役員をはじめとしたグループ幹部社員がメンバーとなっており、取締役会付議事項以外の様々な経営課題について自由に議論・討議する場となっております。



■コンプライアンス

内部通報制度

当グループが継続的かつ安定的に発展する妨げとなる法令違反や社内不正などを防止または早期発見して是正することを目的に、内部通報窓口を設置しています。当社の役職員(役員、社員、パート、アルバイト、派遣社員等)が上司を経由せず、直接、電話・メール・手紙などで通報できる仕組みです。また、通報は匿名でも可能で、通報者個人を特定する情報は原則開示しないなど、秘匿性を確保し、安心して利用する環境を整えております。

Appendix

沿革

創業以降

1902年 - 1929年

1902年7月 ● 1902年に東京市神田(当時の住所)に非鉄・金属の間屋として創業。

東港金属 設立以降

1947年 - 2020年

- 1993年4月 ● **東港金属**
東京都大田区京浜島二丁目20番4号に本社を移転
- 1997年10月 ● **東港金属**
東港金属(株)が東京銅合金工業(株)を吸収合併
- 2006年1月 ● **TML**
東京都中央区において産業廃棄物及び一般廃棄物等の収集運搬を行うことを目的として、トライマテリアル(株)(現TML(株))を設立
- 2007年3月 ● **トライメタルズ**
東京都大田区において金属スクラップ等の輸出入を行うことを目的として、トライメタルズ関東(株)(現トライメタルズ(株))を設立
- 2011年1月 ● **トライメタルズ**
トライメタルズ関東(株)からトライメタルズ(株)に商号変更
- 2011年11月 ● **東北トライメタルズ**
東京都大田区において東北震災の復興を行うことを目的として、東北トライメタルズ(株)を設立
- 2018年5月 ● **トライシクル**
東京都品川区においてインターネットサービスの開発・運営・販売を行うことを目的として、トライシクル(株)を設立

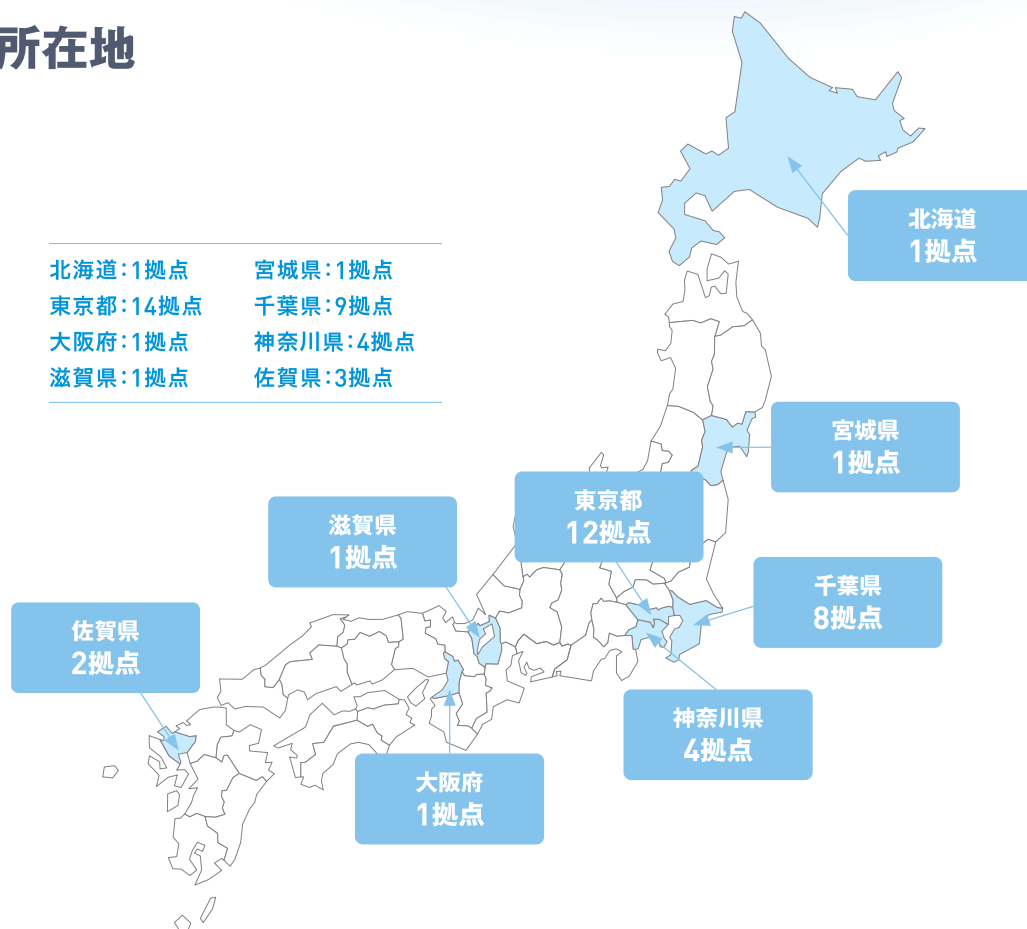
サイ클ーズ 設立以降

2020年 - 2025年

- 2020年9月 ● **サイ클ーズ**
持株会社制へ移行に伴い、当社(サイ클ーズ(株))を設立
- 2021年1月 ● **TML**
トライマテリアル(株)からTML(株)に商号変更
- 2022年8月 ● **リ・セゾン**
(株)クレディセゾンと合併で東京都品川区においてOA機器等を中心に再資源化を行うことを目的に(株)リ・セゾンを設立
- 2023年4月 ● **タツタサイクル**
(有)竜田自転車五反田(現 タツタサイクル)の株式を100%買収し、子会社化
- 2023年4月 ● **東北トライメタルズ**
東北トライメタルズ(株)の清算
- 2023年7月 ● **インタコム**
(株)インターコムの株式を100%買収し、子会社化
- 2024年1月 ● **東港金属**
三立処理工業(株)の株式を100%買収し、子会社化
- 2024年3月 ● **東港金属**
(有)竜田自転車五反田から株式会社タツタサイクルに商号変更
- 2024年5月 ● **サナース**
(株)サナースの株式を100%買収し、子会社化

Appendix

■企業所在地



東京都

サイ클ーズ株式会社 本社

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-20-4
TEL:03-6412-9009

TML株式会社 本社

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-19-10
TEL:03-3790-2882

東港金属株式会社 大森オフィス

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8階
TEL:03-5767-8860

トライシクル株式会社 本社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8階
TEL:03-6410-8780

株式会社タツタサイクル 本社

〒141-0031
東京都品川区西五反田6-23-8
TEL:03-3492-2983

東港金属株式会社 本社

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-20-4
TEL:03-3790-1751

トライメタルズ株式会社 本社

〒143-0003
東京都大田区京浜島2-20-4

サイ클ーズ株式会社 大森オフィス

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8階
TEL:03-6410-8797

トライメタルズ株式会社 大森オフィス

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8階
TEL:03-5767-8866

株式会社リ・セゾン 本社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8階

株式会社インターコム 本社

〒183-0055 東京都府中市府中町1-26-15
β. 桜通りビル3階
TEL:042-404-5025

千葉県

サイ클ーズ株式会社 千葉工場

〒293-0011 千葉県富津市新富52-1 TEL:0439-80-4545

東港金属株式会社 千葉工場

〒293-0011 千葉県富津市新富52-1 TEL:0439-80-4545

TML株式会社 千葉営業所

〒293-0011 千葉県富津市新富52-1 TEL:0439-80-4545

トライシクル株式会社 リサイクルセンター

〒293-0011 千葉県富津市新富79-1

株式会社リ・セゾン リサイクルセンター

〒293-0011 千葉県富津市新富79-1

株式会社サナース 技術統括本部

〒292-0205 千葉県木更津市下郡1105

株式会社サナース 木更津マシンパーク

〒292-0204 千葉県木更津市茅野19-1 TEL:0438-53-2230

株式会社サナース サナース ソーティング ラボ(SSL)

〒293-0011 千葉県富津市新富79-1

神奈川県

三立処理工業株式会社 本社

〒210-0847 神奈川県川崎市川崎区浅田4-16-7 TEL:044-355-2861

三立処理工業株式会社 夜光事業所

〒210-0863 神奈川県川崎市川崎区夜光3-3-2 TEL:044-280-0520

三立処理工業株式会社 水江事業所

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町1-2 TEL:044-277-9601

三立処理工業株式会社 白石事業所

〒210-0857 神奈川県川崎市川崎区白石5-2 TEL:044-355-2853

株式会社サナース 本社

〒140-0013 神奈川県横浜市港北区新羽町178 TEL:045-534-2270

北海道

株式会社サナース 北海道支店

〒003-0829 北海道札幌市白石区菊水元町9-2-3-11 TEL:011-799-4350

大阪府

株式会社リ・セゾン 関西倉庫

〒555-0041 大阪府大阪市西淀区中島 2-5-100 大和物流株式会社 大阪物流センター B棟

滋賀県

株式会社サナース 関西支店

〒520-3251 滋賀県湖南市朝国142-11

宮城県

株式会社サナース 東北支店

〒989-2204 宮城県亶理郡山元町鷺足字山崎4-3 TEL:0223-23-0220

佐賀県

株式会社サナース 九州支店

〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上3丁目105 オフィスパレア鳥栖I-1号室 TEL:0942-50-6808

株式会社サナース 九州支店(部品庫)

〒841-0061 佐賀県鳥栖市轟木町字三本松1700-1 大和物流株式会社 鳥栖物流センター

Appendix

■許可・認定・認証

サイ클ーズ

- ◆ISO 14001 認証
- ◆ISO 27001 認証

東港金属

- ◆産業廃棄物収集運搬業(優良産廃処理業者認定/東京都産廃エキスパート認定)
- ◆産業廃棄物処分業(優良産廃処理業者認定/東京都産廃エキスパート認定)
- ◆自動車リサイクル法に基づく破碎業(千葉工場のみ)
- ◆第1種フロン類充填回収業者
- ◆特定金属類取扱業(千葉工場のみ)
- ◆産業廃棄物処理施設設置許可
- ◆一般廃棄物処理施設設置許可
- ◆古物商
- ◆ISO 14001 認証【本社・京浜島工場、千葉工場】
- ◆ISO 27001 認証【本社・京浜島工場、千葉工場】

TML

- ◆産業廃棄物収集運搬業(優良産廃処理業者認定/東京都産廃エキスパート認定)
- ◆特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ◆一般貨物自動車運送事業
- ◆安全性優良事業所(Gマーク)認定 認定証番号 2493237
- ◆ISO 14001 認証【本社】
- ◆ISO 27001 認証【本社】

トライメタルズ

- ◆特定金属類取扱業
- ◆ISO 27001 認証
- ◆古物商

トライシクル

- ◆特定金属類取扱業
- ◆高度医療機器販売業・貸与業
- ◆古物商
- ◆ISO 27001 認証【本社】
- ◆JIP-ISMS517-1.0(ISO/IEC 27017) 認証【本社】

三立処理工業

- ◆産業廃棄物収集運搬業(優良産廃処理業者認定)
- ◆特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ◆古物商
- ◆ISO 14001 認証

リ・セゾン

- ◆古物商
- ◆ISO 27001 認証

サナース

- ◆一般建設業(とび・土木工事業/機械器具設置工事業)
- ◆古物商

インターコム

- ◆プライバシーマーク認定

タツタサイクル

- ◆毒物劇物特定品目販売業
- ◆古物商

東港金属及びTML（特別管理）産業廃棄物収集運搬業 許可一覧表

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。東港金属及びTMLのホームページからもアクセスできます。

2025年8月現在

会社名	取得 都道府県名	許可品目 <small>（◎は石棉含有物質を含む、□水銀使用製品廃棄物を含む、◇は自動車等破砕物を含む、灰色ハッチの品目は積替え保管許可品目）</small>														優良 産廃 処理 業者 認定 制度 による			
													特別管理産業廃棄物						
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず 及び コンクリートくず	ガラスくず、 セラミックスくず	がれき類		廃酸	廃アルカリ	廃石綿等
東港金属	岩手県					◎□	◎□	◎□	◎□			◎□	◎□	◎□					○
	福島県	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□					○
	茨城県		○			◎□		○				□	◎□	◎					○
	栃木県		○			◎□	○	○	○			□	◎□	◎					○
	埼玉県	○	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	千葉県	□	○	○	○	◎□	○	○	○	○		□	◎□	◎					○
	東京都	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□		◎□	◎□	◎□					○
	神奈川県	□	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	静岡県					□		○				□	□	○					○
TML	岩手県					◎□	◎□	◎□	◎□			◎□	◎□	◎□					○
	秋田県	◎□	○	○	○	◎□◇	○	○	○		○	□◇	◎□◇	◎					
	山形県	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□◇	◎□	◎□	◎□		◎□	◎□◇	◎□◇	◎□					
	福島県					◎□	◎□	◎□	◎□			◎□	◎□	◎□					○
	茨城県	◎	○			◎□	○	○	○			□	◎□	◎					○
	栃木県	◎□	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	群馬県	□	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	埼玉県	◎	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	千葉県	◎□	○	○	○	◎□◇	○	○	○	○	○	□◇	◎□◇	◎					○
	東京都	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□	◎□					○
	神奈川県	◎□	○	○	○	◎□	○	○	○	○	○	□	◎□	◎					○
	長野県	◎□	○	○	○	◎□	○	○	○	○		□	◎□	◎					○
	静岡県					◎□	○	○	○		○	□	◎□	◎					○
	愛知県	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□					
特別管理 産業廃棄物	千葉県														○	○	○		○
東京都															○	○	○		○
神奈川県															○	○	○	○	○

注)「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業（積換えなし）及び特別管理産業廃棄物収集運搬業（積換えなし）の許可が合理化され、これまでは（特別管理）産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでしたが、平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行うことができるようになりました。

Appendix

東港金属 産業廃棄物処分業許可一覧表

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。また東港金属のホームページからもアクセスできます。

2025年8月現在

取得都道府県	許可品目								優良産廃処理業者 認定制度による 優良認定
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○	○	○	○		○

三立処理工業 産業廃棄物収集運搬業 許可一覧表

※ 当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。

2025年8月現在

会社名 取得都道府県名	許可品目 (◎は石綿含有物質を含む、□は水銀使用製品廃棄物を含む、△は水銀含有ばいじん等を含む、 ◇は自動車等破砕物を含む、灰色ハッチの品目は積替え保管許可品目)																	優良産廃処理業者 認定制度による 優良認定			
	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	陶磁器くず	ガラスくず、 コンクリートくず、 珪さい	がれき類	動物のふん尿		動物の死体	ばいじん	13号廃棄物
川崎市	△	◎□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎	○	○	△	○	○
神奈川県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○	○	○	○	□	◎□	△	◎	○	○	△		○
東京都	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
埼玉県	○	◎□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△	○	○
千葉県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
福島県	△	◎□△	○	△	△	◎□	○	○	○	○		○	□	◎□		◎			△		○
茨城県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
栃木県	△	◎□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
群馬県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
長野県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
山梨県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎					○
静岡県		□	○	○	○	□							□	□							○
愛知県		◎○	○	○	○																○
三重県		△	○	△	△	◎															○
広島県	△	◎□△	○	△	△	◎□	○	○	○	○	○	○	□	◎□	△	◎			△		○
山口県	△	□△	○	△	△	◎□	○	○	○			○	□	◎□	△	◎			△		○
福岡県	△	□△	○	△	△	□		○	○			○	□	□	△	○			△		○

三立処理工業 特別管理産業廃棄物・収集運搬業許可一覧表

※ 当許可証は「産廃情報ネット」からご覧いただけます。

2025年8月現在

会社名	取得都道府県名	特別管理産業廃棄物 許可品目 (※ 灰色ハッチ の品目は積替え保管許可品目)														優良産廃処理業者認定制度による 優良認定		
		廃油(揮発油類、軽油類、灯油類 及びこれらに類するものに限る)	廃酸 (PH 2.0 以下)	廃アルカリ (pH 12.5 以上)	感染性廃棄物	特定有害産業廃棄物											ばいじん	
						廃石綿等	廃水銀等	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ			鉱さい
三立処理工業	川崎市	○	○	○	○	○	○	低	低	低	2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	神奈川県	○	○	○	○	○	○	低	低	低	2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	東京都	○	○	○		○	○	低	低	低	2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	埼玉県	○	○	○		○	○	低	低			1～3・5～7	9～18・22	1～7・9～25	1～7・9～23			○
	千葉県	○	○	○	○	○	○	低	低	低	2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	福島県	○	○	○		○		低	低		2・3・5・6・23・25	2～7・9～23・25	9～18・22	1～7・9～25	2～7・9～23・25	2・3・5・6・23	2・3・5・6・23・25	○
	茨城県	○	○	○		○	○	低	低		2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	栃木県	○	○	○		○		低	低	低	2・3・5・6・23・25	1～7・9～23・25	9～18・22	1～7・9～23・25	1～7・9～23・25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23・25	○
	群馬県	○	○	○		○		低	低		2・3・5・6・23・25	1～7・9～23・25	9～18・22	1～7・9～23・25	1～7・9～23・25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23・25	○
	長野県	○	○	○		○					2・3・5・6・23・25	1～7・9～23・25	9～18・22	1～7・9～23・25	1～7・9～23・25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23・25	○
	山梨県	○	○	○		○		微	微	微	2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	静岡県	○	○	○				低	低									○
	愛知県	○	○	○									9・10	2・3・5	2・3・5			○
	三重県	○	○	○		○					2・3・5・6・23	1～7・9～23	9～18・22	1～7・9～25	1～7・9～23	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23	○
	広島県	○	○	○		○	○				2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
	山口県	○	○	○		○					2・3・5・6・23・25	1～7・9～25	9～18・22・24	1～7・9～25	1～7・9～25	1～3・5・6・23	1～3・5・6・23～25	○
福岡県	○	○	○							2・3・5・6・23・25	2～7・9～23・25	9～18・22	1～7・9～23・25	1～7・9～23・25	2・3・5・6・23	1～3・5・6・23・25	○	

※1 PCB 関係の表記は次の通り (低=低濃度 PCB、微=微量 PCB)

※2 特定有害産業廃棄物に含まれる有害物質の種類番号は次の通り

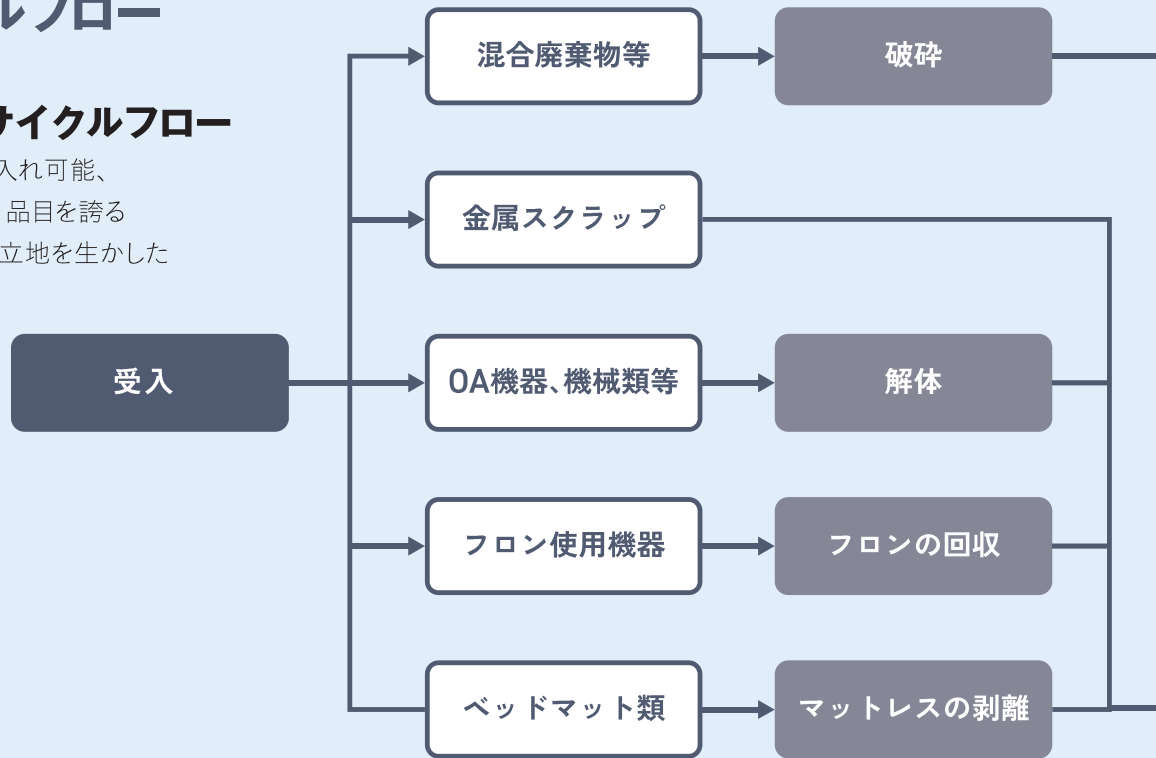
1.水銀又はその化合物 2.カドミウム又はその化合物 3.鉛又はその化合物 4.有機燐化合物 5.六価クロム化合物 6.砒素又はその化合物 7.シアン化合物 8.PCB 9.トリクロロエチレン 10.テトラクロロエチレン 11.ジクロロメタン 12.四塩化炭素 13.1,2-ジクロロエタン 14.1,1-ジクロロエチレン 15.シス-1,2-ジクロロエチレン 16.1,1,1-トリクロロエタン 17.1,1,2-トリクロロエタン 18.1,3-ジクロロプロペン 19.チウラム 20.シマジン 21.チオベンカルブ 22.ベンゼン 23.セレン又はその化合物 24.1,4-ジオキサン 25.ダイオキシン類

Appendix

■リサイクルフロー

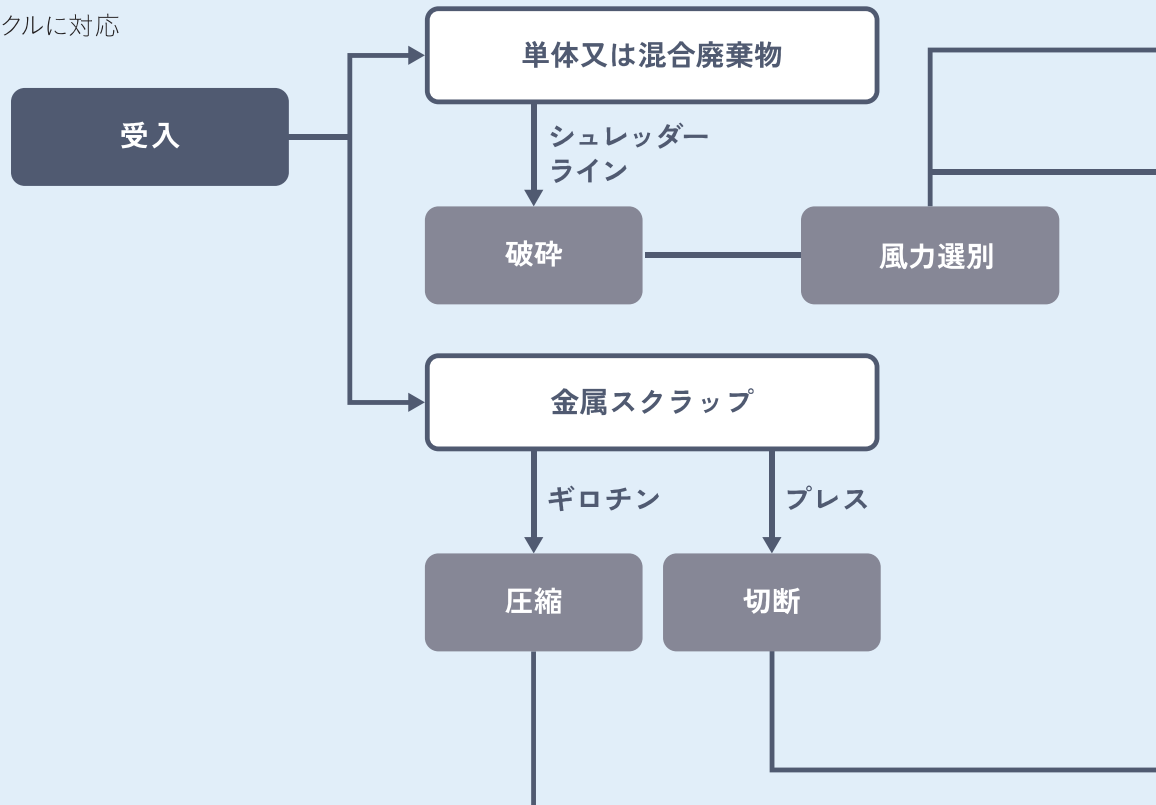
京浜島工場リサイクルフロー

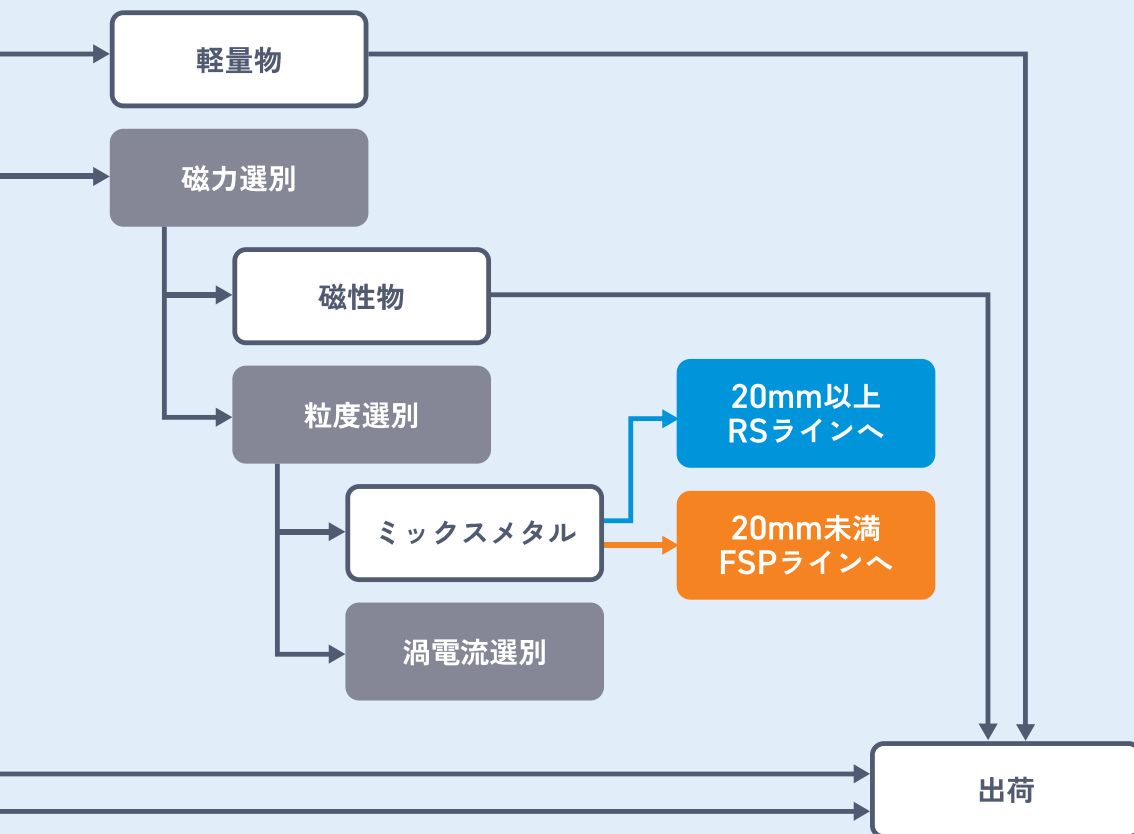
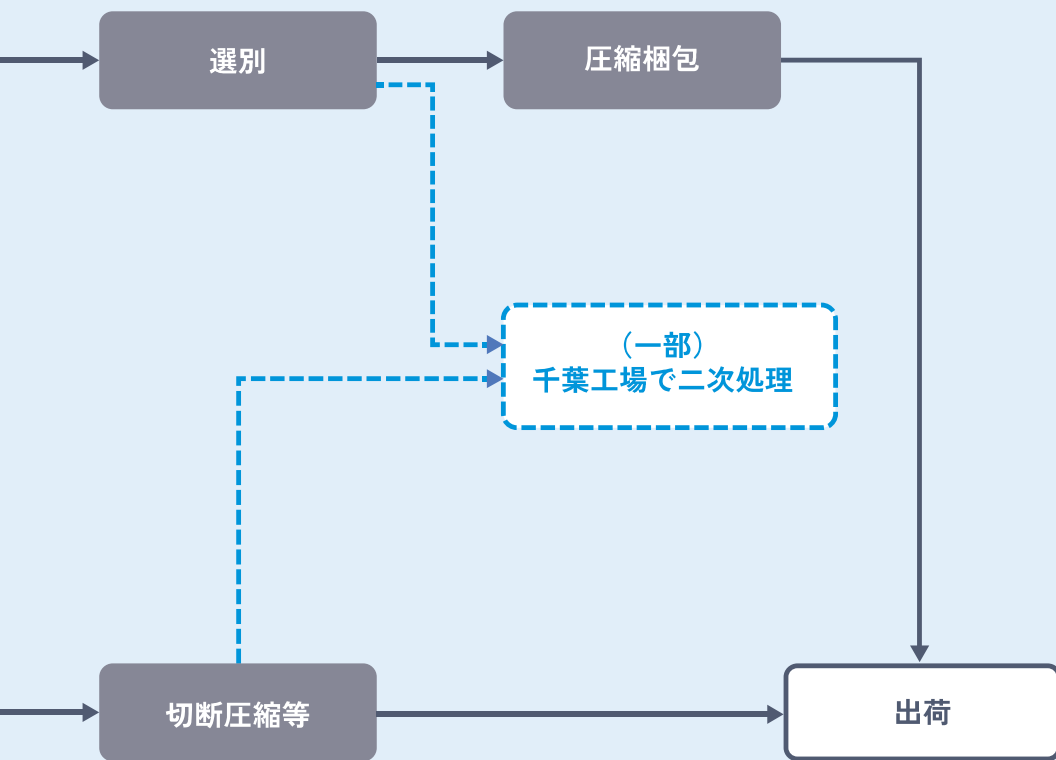
- 24時間363日受け入れ可能、都内随一の取扱量・品目を誇る
- 大田区京浜島の好立地を生かした生産拠点



千葉工場リサイクルフロー 1 シュレッダーライン&ギロチン&プレス

- ドイツ製メインシュレッダー（1000馬力）により幅広い部材のリサイクルに対応





Appendix

千葉工場リサイクルフロー 2(1)

■ 世界水準の選別技術でミックスメタルを極限までリサイクル

RSライン



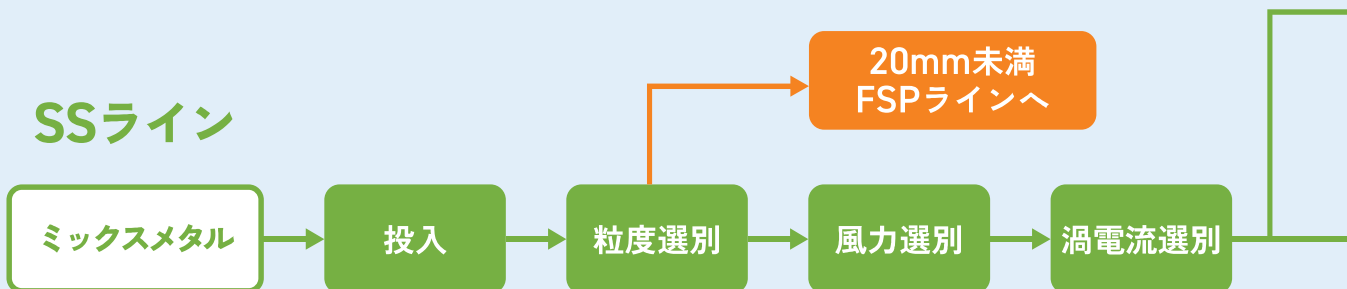
FSPライン

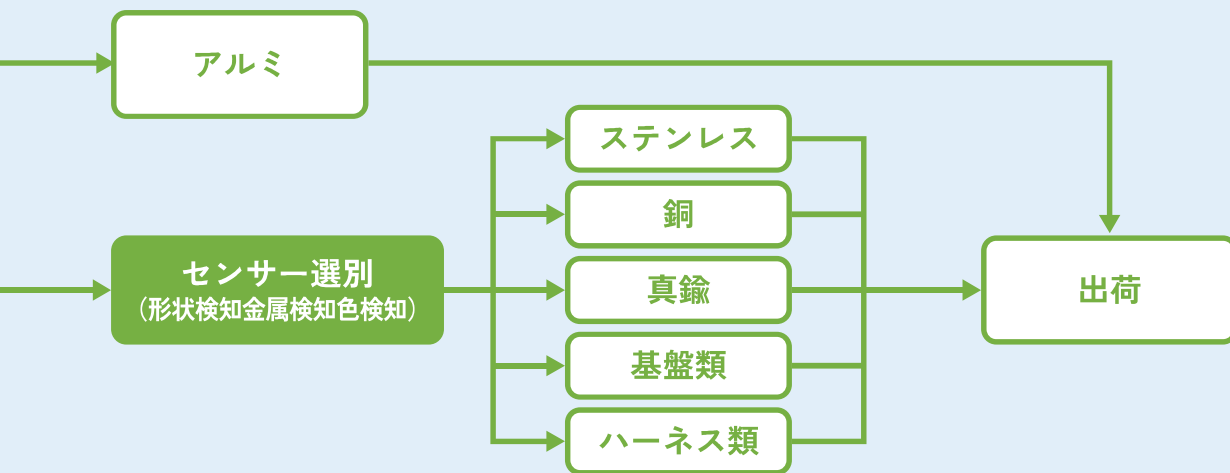
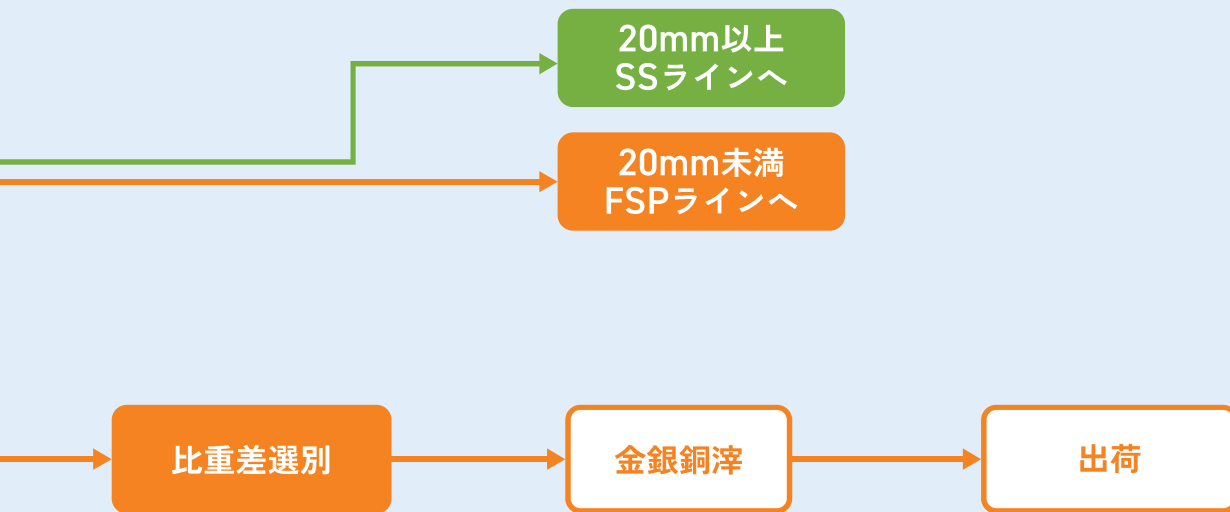


千葉工場リサイクルフロー 2(2)

■ 国内1号機となる複合センサー選別ラインを設置、鉄・真鍮・ステンレス・アルミ等を選別

SSライン





【発行者】サイクラーズ株式会社
経営企画部
〒140-0013
東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館8F
TEL: 03-6410-8797 FAX: 03-5767-8870